京城日報

朝刊と合せて二十頁

本紙定價　一部金二錢　一ヶ月金五十錢…（郵送料共）
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢▲特別…
發行兼編輯人　丸山直毅　印刷人　登山政太郎
發行所　合資會社京城日報社　京城太平通一丁目
電話（編輯）二二・（營業）…・振替貯金口座京城三〇〇番

列強大戰亂電報

▲ウ市包圍

ウィルナ市は三面包圍の裡に在り同市陷落せば露都に至る長距離の鐵道獨軍の手に歸す可し（紐育電報）

▲ウィルナ市陷落す

伯林公報に曰く獨軍はウィルナを占領せりと（紐育電報）

▲墺國計畫

維也納よりの非公式報道に據れば墺國政府は速に戰局を終熄せしむる爲め巴爾幹諸國に對し突如たる一大攻撃を開始す可く目下計畫中なりと傳へらる（紐育電報）

◎智利大統領

フイエンテス氏當選

九月十七日智利共和國大統領最後の選擧あり其結果サン、フイエンテス氏當選せり氏の大統領就任は進歩的政治の先驅なりと目せらる（倫敦發）

◎閒島支那官憲

俄に反抗的態度

支那官憲は我日支新條約實行に對し昨今に至り俄に對抗的態度を取り居れるが甚だしきは領事館の發せる召喚狀を握り潰せる惡狀あり又一面排日鮮人を使嗾し極力閒島協約の不消滅說を流布しつゝあり爲めに日支の衝突は早晩免れざる可しとの謠言を生じ一般鮮人は日本の偉力足らざる無きかを憂ひ人心不安の狀を呈し來れり（閒島特電）

◎海軍大演習

偉大なる新記錄を作らんとす

海軍大演習は愈々來る十月十五日より九州沿岸より本邦沿岸に亘りて開始せられ第一第二艦隊及び横須賀、呉、佐世保、舞鶴の各鎮守府艦隊も亦悉く青赤攻防兩軍に編成參加することなり十月二十五、六日頃は最も壯なる第三波戰に入る可く此際各軍航空隊は侵入軍に臨し敵情偵察爆彈投下の業を演じ最も危險にして且つ冒險的なる活動をなし以て偉大なる新記錄を作らんとする計畫なりと（東京特電）

◎總督官邸晩餐會

寺內總督は十九日午後七時官邸に於て晩餐會を開き第二艦隊司令長官名和中將第二戰隊司令官森山少將以下重なる將校三十名を招待し猶ほ陪賓として山縣政務總監各部長官、所屬官署長井口軍司令官川村第九師團長古海軍參謀長等も列席、席定まるや寺內總督は簡單に歡迎辭を述べ名和長官之に對し共進會に對する祝意を兼ね鄭重なる謝辭あり和氣藹々裡に午後九時散會せり

◎記者團の渡鮮

京城に於て開催せらる可き全國記者大會に出席の記者約百五十名は二十日夜門司より連絡船高麗丸にて渡鮮す（門司特電）

◎尾崎氏の出發

帝國飛行協會幹事尾崎行輝氏は十九日午後九時東京驛發列車にて出發京都に一泊の上京城に向ふ（東京特電）

◎岡內男爵薨去

錦鷄間祗候貴族院議員從二位勳二等男爵岡內重俊氏は豫て病氣の處十九日遂に薨去せり享年七十四歲なり危篤の報天聽に達するや左の如く特旨叙位の御沙汰ありたり（東京特電）

從二位勳二等男爵　岡內重俊
叙正二位（特旨を以て位一級を進めらる）

◎軍司令官邸午餐會

駐剳軍司令官井口中將は二十日同官邸に於て目下入港中の第二艦隊司令長官名和中將、鹿島、三笠、周防、肥前の各艦長及び參謀長其他幕僚十數名を招待し午餐會を催ふせるが主人側よりは川村師團長を始め古海、岡本兩參謀長、各部長等出席せり

◎豫算議了

豫算總額は四年度と大差なし
內閣に廻附は本月下旬

大正五年度朝鮮總督府總豫算案は十六日午後總督官邸に開ける豫算會議に於て決定せり、同會議には寺內總督は勿論、山縣政務總監、荒井度支部長官、兒玉總務局長、河內山司計課長等出席して夫れ／＼說明及び意見の交換ありたるが決定案は度支部の査定と殆んど大差なく其總豫算額は大體四年度と同額なり、歲入に在りては時局の影響に伴ひ鐵道郵便關稅の收入減に對する新財源としては世評の如く酒稅法の改正に依る若干の增加額あるも這は五箇年計畫當時の案を具體化せるものにて格別目新しき財源にあらず、又歲出に於ては特筆す可き新事業無きも從來の計畫に對しては何等繰り延べなし、因に同豫算案は遲くとも本月下旬中には中央政府に廻附せらる可し

◎工傳即賣好評

陳列所は傳習所內

工業傳習所にては共進會開期中傳習所構內に製作品を陳列し毎日午前八時より午後五時まで各科目に亙れる各種の製作品を即賣しつゝあるが例年の如く非常の好評を博し居れり、因に過日共進會場內傳習所出陳場に於て即賣する如く傳へたるは誤聞に就き訂正す

最近の袁大總統

（左）誕辰の總統府正門（新華門）

九月十六日は袁大總統の誕辰なるも本年は特に內外官民の祝賀を受けず華門等に簡單なる結彩を施せり

◎實業家入京

大橋、矢野、服部、原の四氏

京城電氣社長大橋新太郎氏、第一生命保險會社專務矢野恒太氏、朝鮮銀行幣事服部金太郎氏並に原邦造氏は二十日午前八時五十分南大門驛著にて入京し大橋氏は天眞樓に、矢野服部原の三氏は朝鮮ホテルに投宿せり尚ほ村井吉兵衞、馬越恭平氏等も不日來京の筈にして內地の實業家は本月末より來月上旬にかけ續々渡鮮すべしと

觀覽團消息

▲開城鮮人女學校生徒五十三人　二十日入京
▲伊川郡三十九人　十九日入京
▲華川郡七十七人　同上
▲洪城郡百六十七人　同上
▲通川郡五十三人　同上
▲永興郡百九十八人　同上
▲安岳郡百六十一人　同上
▲信川郡九十九人　廿日入京
▲始興郡九百人　同上

□共進會入場者

十九日（日曜日）

內地人	五千五百四十七人
朝鮮人	九千五百十五人
支那人	百五十四人
外國人	三十二人
無料者	千六百六十一人
合計	一萬六千二百七十九人

◎橫井博士退京

帝國大學教授橫井理學博士は東拓殖産課長足立丈次郎氏と共に滯在中なりしが二十日午前九時南大門驛發汽車にて滿洲視察の途に上れり同氏は本月下旬再び入京の筈なり

人事消息

▲服部金太郎氏（東京實業家）二十日入京朝鮮ホテルに投宿
▲原邦造氏（同）同上
▲矢野恒太氏（第一生命相互保險社長）同上
▲石坂泰三氏（同秘書役）同上
▲吉松憲郎氏　十九日內地より入京牧山氏事務所に入る
▲西村道彥氏（第一銀行京城支店支配人）十九日歸店
▲澤柳猛雄氏（帝國飛行協會主事 海軍少佐）十九日入京
▲菊地謙讓氏（元大邱民團長）十九日夜出發內地へ
▲深川貞學氏（日本通信社長）二十一日入京京城ホテル投宿
▲原島善之助氏（總督府技師）出發東上の日は未定
▲人見次郎氏（農務課長）東上中の同氏は十九日朝南大門驛着汽車にて歸任二十日より登廳せり
▲齋藤音作氏（營林廠長）共進會出品物審査の爲め十八日入京
▲安住時太郎氏（辯護士）大邱へ出張中の處十九日朝歸京
▲鈴木穆氏（臨時土地調査局長）內務部長及び江原局其他と小作問題に對し打合せの要務を帶び往復約一週間の豫定を以て十九日朝發東上
▲熊谷喜一郎氏（石川縣知事）十九日午前八時三十分發列車にて大邱觀察の途に就けり
▲林市藏氏（東拓理事）十九日朝東上
▲半井桃水氏（東京朝日記者）二十日朝元山へ
▲料理屋組合廿六人　十九日夜內地へ
▲小西春雄氏（鮮銀奉天支店長）二十一日より二十日開館の支店長會議列席の爲め十九日夜入京不知火に
▲中村光吉氏（同大連支店長）同上
▲松原純一氏（長春出張所長）同上
▲渡邊千冬氏（日佛銀行支店代表者）十九日夜南大門驛通過滿洲へ
▲古城菅堂氏（京城銀行重役）毆父逝去の報に接して二十日午前七時三十分南大門驛より出發
▲佐藤榮三氏（釜山府庶務係）二十日朝入京不知火旅館へ
▲西山喜久平氏（鮮銀新義州出張所長）同上
▲井上正愛氏（同群山出張所長）同上
▲掛井生治氏（鮮銀大阪支店長）同上
▲阿部讓氏（同安東縣支店長）同上
▲井藤信郎氏（同鎮南浦支店長）同上
▲市川豐治氏（釜山稅關監定官）二十日夜入京不知火旅館へ投宿
▲土居供夫氏（地方法院原州支廳判事）同上
▲新庄大尉（全州憲兵分隊長）同上
▲稲田義雄氏（慶州憲兵分隊長）同上
▲淺見竹太郎氏（京城地方法院長谷川支廳判事）同上
▲田中遜氏（黃海道第一部長）十九日夜入京
▲泉末吉氏（鮮銀木浦支店長）二十日入京山本旅館に
▲菊池閨芳氏（大阪每日記者）同上
▲木下藤作氏（同）同上
▲橋詰良一氏（同）同上
▲阿部秀太郎氏（鮮銀平壤支店長）二十日夜入京山本旅館へ
▲鈴木源之助氏（鮮銀會寧出張所長）同上

南言北語

▲春の頃未曾有の內閣を組織してアット云はせた英國內閣は今や將に危機に瀕して來た▲全英徵兵制採用に賛成する五六の大臣は內閣不一致の爲め辭職をすると騷いで居る▲一方勞働組合は大會を開き鐵道從業員を代表して下院議員ゼー、エッチ、タマス氏の徵兵制實施の際は鐵道員は全部罷業を行ふなど氣焔當るべからずだ▲無理に實行すれば此の大事の際英國の諸工場では一時事業中止に至るかも知れない而うすれば一騷ぎあるのは軍需大臣ロイド、ヂョージ氏だらう▲處がキッチナー元帥などは何あに最後は金で勝ちますよと悠々落な戰爭して居る處は即ち英國の氣い處かも知れない▲獨逸と云へば世間から米國は不甲斐ない樣に云ふが米獨戰爭など始めやうものなら大變だ▲獨逸の方より米國の方が困る▲目下米國に居る獨逸人にして米獨協會員たるものは勿驚四百萬餘だ▲英國が開戰以來三百萬人の募兵をしたと威張て居るが其れよりも百萬多い▲根性骨の惡い獨人が斯うも澤山居たら何な事を仕出かすかも知れないからな▲現にベルンスドルフとツンバとの彼の陰謀は何うだらう更に英佛墨償の邪魔なんかは公然の大袈裟だ▲のみならず聯合國に武器の供給に對しブライアン氏迄が其の不都合を鳴らしだした▲米人の十人や二十人犧牲に供したつて斯んな危い時に戰爭するのは飛んでもないこと▲其處を見て居るウヰルソン大統領は豪い、イヤ之れはお追從でもなんでも無いの事だ▲滿洲の公主嶺附近の小滿樹から源義經の像が出たなんて面白い又々成吉思汗が義經だと騷ぎ出すだらう▲十六日に修築竣工した慶州石窟庵の工事に從事して居た人夫等は非常に有り難がつて佛樣に彰德表を上り▲三十名程が品行を謹み稼業を勵むと云ふ盟約を佛樣に對して作つた名けて品行向上期成同盟會とでも云ふのだらう▲其れから修築に著手した當時附近の人々は毀つかと思つて驚いて居たのに▲次第々々に綺麗に直つて來るので佛樣が生き返つたと大喜び毎日參詣者が引き切れぬ相な▲此の樣な鳥渡した事でも朝鮮人に與へる感化と云ふものは大したものだから田舍に居る內地人達は萬事に注意して貰ひたい

家庭博と志らぎデー

明日の家庭博に入場の御方は
「如斯特權あり」

大人氣大好評の
京日主催 家庭博覽會へ
御來觀の各位に御土産進呈

金五錢
しらぎ壹袋を進呈

結局家庭博が
半額で
見られます

入場券（金拾錢）を明二十一日（晝夜共）家庭博覽會切符販賣所で御購めになつて入場せらるゝ方に限り御土産として漏れなく進呈致します

廣江黨の愛煙家は
「如斯德用あり」

廣江商會

満員お斷りの盛況

團體入場者の多きこと開場以來第一

空澄り日の光こそ射され雨を催す程のこともなき廿日の共進會は開場前より夥しき觀客詰めかけ十一時既に八千を算し正午には一萬を過ぎ此日は殊に學生の團體入場者非常に多く午前十時開城好壽敦女塾生徒の四十九名を先頭として京城女子公立普通學生徒二百四十名、培材學堂の百六十二名、高等普通學校生徒三百二十八名等を始めとして各普通學校私立學校等二十數團體に達し又朝鮮地方團體の午後一時までに來觀せるもの廿有七の多きに及び團體のみにて十二時までの人員數五千七百六十四名其他普通入場者を加へて一萬以上を數ふるに至れり爲めに鐵道特設館の如きは十一時半遂に入口を暫時閉ぢて入場を斷りその後も時々入口を閉ぢて入場者を調節するの盛況を呈し各館協贊會場の餘興場等何處も人を以つて埋められ黑鱗茶の袴つけたる緇降の正服著たる男女學生の間を活潑に往來する樣非常の盛觀なりきかくて午後一時に至るや仁川入港中の第二艦隊水兵七百四十五名及び士官三十二名の入場するあり一層の賑盛を現じ殆んど各館身動きもならぬほど守衛、警備の警官等はその保護と警戒に大多忙の有樣なりき

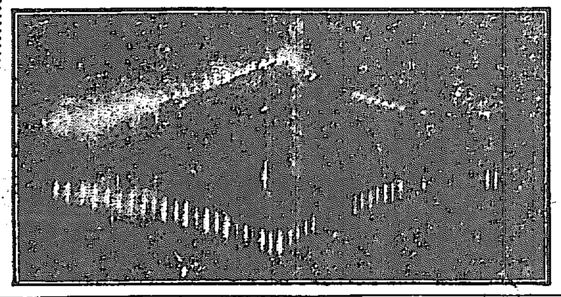
背景苦心談

演藝館の評判 京城名所の四季

共進會の餘興の隨一と稱せられて居る演藝館の新曲「御代の榮」は成程派出な目の覺める樣な踊だ同じ新曲の『つひのよるべ』は踊として見るべき價値があり、妓生の踊も却々に奇麗ではあるが演藝館中の見物として氣を留めて見て貰ひたく、又た推稱するに値ひするものだと信ぜられるのは背景の美しく奇麗に、既に見事に出來て居る事である此背景に人知れぬ苦心をした協贊會餘興係の神崎君が鼻を高くするのも穴勝に蔑す譯には行かない、演藝館が出來るが背景は惡うしようか、東京から聘ばうか、大阪から連て來やうか、餘興係長の釘本氏や神崎氏の間に數回の討議があつたものだ、神崎君の郷里福岡縣博多は遊藝の盛んな所だ、飯米は食はず共遊藝をやりたいと云ふ人の多い所だ、隨つて遊藝を土臺とする各種の通人の遊者が多い、こゝに背景師に前田甚太郎と云ふ人がある、神崎君は信ずる所があつて此前田背景師を聘んだ『御代の榮』の背景は六枚を畫かねばならぬ、最初の南大門と最後の會場の夜景は別としても京城近郊の春夏秋冬は其々實地の踏査をせねばならぬ、石も溶けさうな夏の暑い日、牛耳洞の溪流に踵を浸して、青々と葉の繁い繁つた老櫻を見て、花の三月櫻花爛漫たる景を追想せねばならぬ、漢江に船を浮べて或は流れも消き大江に屋形船の行く風情を描き又雪に埋もれた冬の眺めを想はねばならぬ、さては北門外石坡亭の紅葉を探るなど此の背景の爲めには

人こそ知られ却々の苦心を重ねたものだ、

出來上つたのが『御代の榮』の背景六枚と『ついのよるべ』の引き拔一枚、妓生の舞踊に用ゆるのが牡丹臺と、景福宮の奥庭と、朝鮮の宮殿の三枚、何れも出來榮えは實に見事で、中にも夏の漢江に家形船を浮ばし、夜の會場に裝飾光を見せたりする腕は確なものだ此頃は鐵道一千哩祝賀の踊に用ゆる背景を物して居るさうだが、之れ亦更に一段の趣向を凝したものださうな



慶會樓畔の煙花

鐵道館廿日より夜間開場

光樓彩閣

東拓館鐵道館兩館夜間開場

文字そのまゝの不夜城を現せる共進會の夜景と餘興場の賑ひに毎夜〳〵光化門通りより協贊會場は見物の人波の如く押し寄せ非常の盛觀を呈せるが、尚ほその上にも來觀者に滿足を與へんとの計畫にて東拓特設館は十八日より夜間も開館することゝなり電燈の光を巧みに利用して陳列の數字、模型、その他の出品に一層の光彩を添へ、見物の大人氣を博せるが鐵道特設館にても電燈の試驗、各係員の配置試驗凡て終りたればいよ〳〵廿日夜より夜間も一般觀客の爲めに開館することに決したりさらでだに美觀眼を眩ずる鐵道特設館は色美しう映じ出す電燈の光の下に鐵道沿線の模型と、ジオラマ式に描かれたる朝鮮鐵道全線の風景を背め、鴨緑江鐵橋の回轉橋より呼び物のケーブルカー上より見渡す京釜、京義兩線の風光等光彩陸離として觀客を醉はしむるはもとより三階な上より眺むる共進會場内外の夜景は殊の外に見物なる可くさためし廿日夜よりの三館は共進會場夜の覇者として多數の觀客人氣の中心となるをなる可し尚ほケーブルカーの夜間運轉は或時期まで見合す由

休憩所巡り

(二) 吾輩の御機嫌

協贊會事務所や共進會郵便局の前へを眞直にお運び遊すと全羅南道と忠清南道の休憩所が設けられてある、白の天幕に白木のベンチそれを紅白の幔幕で包んだ全南のそれにと踏み込めば正面には清涼水の大きな壺の用意あり、十數人のお客樣に忙しさうなるにも拘らず、拔からず

▲お茶を下される 氣輕に氣の置けぬ取り爲しと設備が吾輩には甚だお氣に召したり、お隣の忠南休憩所に歩を移せば、正面に道の道路圖掛り忠南自慢の扶餘八景その他の大風景寫眞が十數枚掛かれ、天井はリボンで飾り、花瓶にはダリヤの色濃き奴が投げ差しにされてあり淺黄の幕に日光を避けて落付いたしつらへ、前髮を小さくとつた蝶々まげの美人が折り柄入來せる朝鮮紳士と吾輩とに茶をすゝめ、全北で戴いたと同じ樣なおせんが出る、然し先がお忙しい吾輩は落付いても居られませねばアタフタ引き退つて慶會樓の池畔に悠然と杖を曳く、京城協贊會と家根に太く記した東屋風の休憩所が角力館のこちらと

▲料理屋の出店 の裏とにあつたが何れも滿員の態に御遠慮遊して、池に臨んで進む程に、東亞煙草の休憩所に打つかる、四角なセ、ツション式の洒れた建物には色硝子の模樣も美しく、モールやリボンを縦横に引廻した下には花旅には造花が山と咲き亂れて居る、近所の賣店が滿員であつたかして三三人連れのお客がビールを拔いて御機嫌の樣子、年增の美人の下さるお茶に舌を滑らす暇もあらせず、後から後からのお客樣に邪魔しては申譯なしと飛び出せば、池のスワンが驚いて、白い羽を撫へて、飛び上る、それから暫くは松原つゞき

鐵道大競走

懸賞投票締切

廿日午後十二時まで消印あるもの有効

馬賊海賊の根據地を衝く

我旅順水雷艇隊の奇功

支那警邏船我漁船を襲ふ

日本漁船成徳丸旅順出港廟島列島附近航行の際怪しき支那風の汽船に發砲され船員松尾清太郎重傷を負ひしが此急報に接し旅順碇泊の我が水雷艇蒼鷹、鷺、雲雀は十八日廟島列島附近搜索を爲し端なく大金島に多數海賊の潛み居れるを發見し陸戰隊二十五名を編成して該島に上陸、馬賊、海賊の一群と激戰し遂ひに賊二名を捕へ十九日旅順に歸港せり一等兵曹大岩常市賊彈に急所を撃たれ歸港後旅順海軍病院に入り治療を加へたるも遂に死亡せり、但し我が漁船成徳丸を襲ひしは支那警邏船東州丸にしてその副船長某を伴ひ來り目下旅順民政署にて取調べ中(大連特電)

探險隊新陸地發見

十七箇月間行衛不明なりし加奈陀北極探險隊ステフアンソン博士一行は更にバンクスランド附近より探險を續行せんとしつゝあり、七月十八日セントパトリツク島の南西に新陸地を發見せり右は北緯七十七度四十二分西經百十五度七十三分に在り、此測量は天候不良のため一日間測定せるのみなるも上陸點より東方には約百哩の海岸線あり又東方五十哩には山嶽を認めなり餘程大なる陸地なるべし僅かに三日間東海岸を探險せるのみなるも陸上に熊以外の極地動物多く海鳥も飛來せるを見たり(紐育特電)

新木像

義經入蒙說立證乎

公主嶺滿鐵附屬地を距る二支里の小崗榆樹と稱する村落の一小祀にて源義經と文字の跟鮮かに刻まれたる一基の木像發見さる、支那人はこれを日本の神樣と稱へ居たり、間違ひなくば義經の入蒙說及び夫の成吉斯汗說を立證する好資料たるべし(大連特電)

家庭博覽會

明日の家庭博入場者に限りかくの如き特權があります

家庭博覽會では明二十一日の入場者(團體軍人子供の外)に對し晝夜共廣江商會の『しらぎ』を一ツ宛進上します、十錢の入場料で五錢の煙草が渡ると丁度半額即ち五錢で見られるわけです好んな好機會は又とありませぬ明二十一日は是非御來觀なさらなくてはならぬ日であります

家庭博を無料で觀る法

靈藥清心保命丹の製造本舗京城南大門横濟生堂藥房では清心保命丹を擴張するため一包十錢の保命丹購求者に對し金十錢の家庭博覽會入場券を添付する事になりました

元山の出火

二十日午前二時元山泉町なる本社支局附近より出火し二十戸燒失同日午後三時鎭火せり元山の中央にて人家稠密せる場所とて一時は大混雜を極めたり(元山特電)

彼岸の入り

二十日に秋のひがんに入ります彼岸の飜譯は今回にお預りとして昨今の暑さあつさは彼の暑さ寒さも彼岸までといふ風流がゝつた形容へには些しも合はぬやうで若し之が二百二十日頃まで、あつたら候留定期米や株式市場に影響があるでしやうが最早二百三十日(廿二日に相當)となつては其等の心配はありませぬ左は云へ云ひ傳への彼岸日和殊に八專の中日で友引の加勢もあつて若し此のひがん入りに降るさならば餘り樂觀の材料とは云へますまい因みに二十一日の入りゆゑ彼岸の中日は二十四日になることは申すまでもありませぬ

秋季彼岸會

△旭町三丁目本願寺にては來る二十一日より二十七日まで秋季彼岸會執行毎夜法要、說教あり中日(二十四日)午後一時より結の三座說教あり

△法界大施餓鬼執行の由

△高野山の彼岸會 新町高野山出張所に於ては二十日晩より二十七日まで毎夜午後一時同八時彼岸法會を修し說教法話並に參詣者向の御詠歌あるよし

△曹洞宗大本山別院 廿一日午後八時より讀經、說教廿二日同上、廿三日同上、二十四日午後二時より大施餓鬼法要、說教、食物施與、二十四日午後八時より稱禮法要、說教、二十五日午後八時より[illegible]、說教、二十六日同上、二十七日午後二時より大施餓鬼法要、說教、食物施與、二十七日午後八時より[illegible]法要、說教

蒙天覽 よろづやたび

■警報 (九月二十日午前九時卅九分仁川測候所發) 警戒風強かるべし △低氣壓位置黄海北方 △同示度七百五十五粍 △進行方向東北東 △警戒區域南部

金井山の夕暮景色と樂しき觀月は 東萊温泉場 蓬萊館 電話東萊五番 ◎釜山鎭より電車開通

於内外國博覽會金牌受領 京染の好時季 御注文の栞御申越次第郵呈仕候 勘 京都市新町通綾小路下る 各種染業 木村勘兵衛 電話下四十二番 振替大阪二六七七番

祝共進會 滿鮮輸出元祖 洋反物卸問屋 大阪東區南本町四丁目 合名會社 岡崎商店 電話(東)九五二番 輸出部 振替口座大阪七一四五番
○弊店染入の獨得モスリン友仙は共進會參考館に出品仕候
○始政五年共進會記念意匠モスリン風呂敷は御土産及び贈答用品として好箇記念の逸品に有之…京、龍、仁各呉服店に發賣仕候
○優秀モスリン友仙は全國到處の各呉服店に販賣仕候

高田 上 仲買店 週報 株式會社仁川米豆取引所仲買人
(其ノ[illegible]新安直)前週末本邦西部の暴風雨に起因し大阪百廿四円十六丁切の急反騰を見たる期米は其後の天候申分なく彼岸日和の好順見越しに再び漸落步調となり週末遂に大阪十二圓廿錢當地八圓八十三錢の新安直を現し正に昨冬最底直を突破せんずの趨勢に相見へ申候何分買方は萬一の天災を唯一の賴みとせるに反し賣方の向背には幾多有力なる軟林料の後援を有する事とて如上の崩落相場又怪むに足らざるも未だ收穫期迄には敷旬を除せる今日の直頃としては此上突込賣も一歩警戒を可要かと存候
仁川海岸町 電略タツ 電話長二〇〇番 二九番

祝共進會開催
大正 朝鮮で一番よく賣れる
■九月廿日より十月卅一日迄に大正たび貳足御買求めになつた御方に抽籤で左記の景品を差上げます何卒此の際是非御買求めを願ひます
■大正たびは京城市内至る所に澤山販賣店がありますから皆樣の御都合のよい所で買つて下さい抽籤券は御買入れになりました店で二足に一枚宛を御貰いなさい
■籤引及景品は本町二丁目大正足袋京城支店で即時御引替致します

景品目録

△一等	自轉車	壹臺
△二等	蓄音機	五臺
△三等	時計	五個
△四等	鼠毛布	百枚
△五等	鳥打帽	二百個
其他十等迄		五千點

たび 値段が安くて品のよい はいて強くてこゝちのよい

有樂館の[illegible] 共進會寫眞[illegible] 荒井旅館支店開業 京城本町二丁目[illegible]

天氣 曇り後晴れ 九月廿一日
日出 六時十八分 日没 六時三十六分

主人公の觀た家庭博

同伴の奥さんこの面白い對話

三越にある入澤博士夫人考案の一坪半の臺所の前は狭い所へ絶えず黒山を築いて見物が立止まるので大へんだ、嫁も姑も未來の奥さんも心から感嘆の聲を放つて見てゐるが中にも心ある人は

▲用意の手帳を出して詳細に設計を記入してゆく、十九日の日曜の午後二時頃に此の前に立つた夫婦連れの對話が頗る振つてる、主人『オイ此の説明を御覽、間口六尺奥行四尺五寸の中に各用の日本料理具が百二十四點、西洋料理具が九十點、日常用が三十點炊事具が百三十點あるんだよ』細君『お米櫃があの高い棚の隅にあつては上下しが……』主人公『待つた待つた、ウンちやんと説明がある』と下から覗いて『あの底の下に窓があつて開けると

▲古い米から順々に出て來る様になつてる瓦斯と七輪の下に抽出板があるからお膳立をその上でして左にある幅一尺高さ六尺の器具棚の適度な所が出來た、お膳を運ぶまでの置場になつて大勢の客をする時は抽斗を拔いて片付ける

ご七八人のお膳が棚に入れられるんだ、然うして醤油や砂糖が脇の小棚に並んでるが全體が狭くキチンと出來てるから定つた場所の外へは置場がない、お前の様に四坪もある廢場をキリ〳〵舞して德利や

▲膳立を蹴飛す廢がない』細君幄く主人を睨んで『凡て立てゐこする様になつてゐますね』主人『立つてゐた方が敏活に働けるから』だ、現代の臺所はこれで無くちや可かん、腰の高さにした流しの下に蠅帳がある、西洋料理の器具は流しの上に並んでゐる、少しも無駄な所がない、廣い場所だと器物が自然に散るが是れなら幾ら整理の惡い女でも定つた所より置けないんだから大丈夫さ、兩面用の組板も新案だね』細君はその間

▲流し臺の下が庖丁さしになつてゐるのを見付けて奇蹟の様に驚く、主人公『全く手落なく出來てゐる』細君『此位の臺所は幾ら位で出來るでせう』主人公『ナニ簡單なものさ、普通の家の臺所だつて器物は在るし棚もあるから改造するには大工の手間代位のものさ』細君『貴郎此の設計を覺えてゐて下さいな』主人は設計の見取圖と説明の要點を手帳に記して去つた

共進會第一號館内の呼物紙と糊で出來た嫁入仕度

南まはり

詳細は門司から　別府 八百吉

因幡丸無線電信技手の談に依れば九日以來臺灣内地間の海底電信線は二線共故障の爲不通となり電報通信は絶對的不可能なりと、故に予は止なく臺灣よりの打電をひかへ急ぎ門司歸著の上詳電すべし(十九日午前十一時半因幡丸無線電信發電)

北まはり

天黒く波白し　神崎 憲一

二日遅れて臺灣海峽に因幡丸を追ふ六千餘噸の汽船我亞米利加丸は三百五十名の船客を乘せ十三哩の快速力にて今壹岐、對馬の間を進みつゝあり天は黒くして波白し(十九日午後九時亞米利加丸無線電信發電)

●國境の新市場

國境羅暖堡より西方約二里半隔れる北三水郡仁好面氷城里に本月初旬より市場新設せられ今後一箇月六回開市せらるゝ事となりたるが貨物の集散頗る良好にして之れが爲め從來取引を見ざりし小麥粉の如き新たに輸入せらるゝに至り尙ほ支那綿布は輸入頓に加はり其他の穀物類も輸入增殖の趨勢を示し居れるが今後同市場の發展と共に貨物の集散上倍々好果を呈するに至るべし

●咸南の水防林

咸鏡南道にては昨年の大洪水の結果各郡に造成せる水防林の面積は植栽個所四百六十八個所九百五十一町四反歩にして之れが植栽本數は百三萬五千本なるが其主なる樹種は、ニセアカシヤ、白楊、柳、赤松等なり、而して北靑咸興の兩郡は其の面積に於て最も大なりと

●金塊出廻增加

九月上半月の朝鮮銀行平壤支店に於ける金塊買入高は卅二貫約十二萬圓にして本月中には廿萬圓を超過すべく前月來天候適順なりしと作業開始者の增加とは出廻活潑の主因たるべく今後は季節柄大なる採鑛は望み難きも此の調子を以て進まば來る解氷期後の活況今より想見し得べきなり

●鯖漁業の前途

來年度に於て必ず完成

西鮮近海に於ける一大遺利として世人の大に囑望せし鯖漁業は當局の熱心なる試驗の結果愈々其有望なることを確め尙ほ進んで漁場其他の調査漸く其緒につかんとする時俄然過般の暴風雨に依つて敎師を失ひたるのみか唯一の頼みとせし試驗船をも物に歸せしめ玆に平南に於ける該漁業調査は一頓挫を來し早や秋冷を迎へ到底今より再興するの餘日なく遂に中止の餘儀なきに至りたるは當局者及び内鮮漁民の深く遺憾とする處なるが今迄數次の試驗に依つて平南に於ても鯖漁の有望なるをだけは確められたるを以て來年度に於ては一層規模を大にして漁期漁具漁法並に魚族と潮流との關係を明にして當初の期待を空しからざらしむる覺悟也と道當局者は語れり

●私營造林と赤松　平南

私營造林事業は逐年發展し來り昨年の六月より本年五月に至る一箇年の新植付見込反別二千五百五十餘町歩植付見込本數約三百五十萬本に上り就中赤松ニセアカシヤ、クヌギ等多く何れも植栽當時適當の降雨ありたる爲活著並に成育良好なるが赤松は天然物を山より直接移植せるものは成績頗る惡しく一と先づ山附近の畑地などにて一年程養生の上移植するを可とすと當局者は語れり

●群山より

▲共進會と各校　群山尋常高等小學校にては高等科二年級生徒三十名を伊澤、坂口、大久保三敎師に引率せしめ來る二十九日午後六時二十分群山發列車にて上京施政記念共進會を觀覽せしむべく亦た群山公立農業學校生徒八十餘名は天草、松元、近藤各敎諭に引率せられ來る二十六日午後當港出帆海路仁川に向ひ同地上陸水族館を見學せしめ直に京城に入り共進會を觀覽せしむる豫定なりと▲視察團來る　下關市關門日々新聞社の主催に係る共進會觀覽團一行二十六名は二十一日午後五時三分著列車にて來群の豫定にて當地一泊視察の上翌二十二日午前十一時四十五分發列車にて木浦に向ふべしと

家庭博覽會唯一の好記念品

家庭博の繪葉書 三枚一組(三種)

▲一ノ組　御飯の食べ方、負ひ方抱き方、家庭習識
▲二ノ組　主婦室、養老室、下婢室
▲三ノ組　紳士の客間、紳士の書齋、一疊半臺所

定價は一組十錢ですが入場者に限り三割引七錢で差上ます場内で記念スタンプも押します切手もあります

商況

東京株式特電

二十日

	前場寄付	大引
日本郵船	九一、〇〇	九一、二〇
日清汽船	……	……
鐘紡	一一八、六〇	……
東京電燈	九三、三〇	九三、三〇
日本麥酒	……	……
東株第一	一五一、三〇	一五一、一〇
東株第二	一五〇、〇〇	一四九、八〇
東新第一	一二五、五〇	一二五、三〇
東新第二	一二四、九〇	一二五、〇〇

東京期米特電

二十日前場寄付

	寄付	後場
十一月限	一一、〇四	……
十二月限	一一、〇四	……
一月限	一一、八六	……
二月限	一一、八九	……

債券及物特電

二十日出來値段(前日との比較)

東洋拓殖	……
日韓瓦斯	……
朝鮮銀行	……
朝鮮瓦斯	……
滿鐵	……

深川在米特電

二十日現物高

鮮米	五一、六三六	
灣米	五九、四二九	
地米	一七九、四三〇	

東京公債直取引

二十日出來値段(前日との比較)

五分特別	九五、二〇	……
四分半	七九、八〇	……
四分	七八、八〇	
四分	九四、一〇	

大阪三品特電

二十日前場

	寄付	大引
九月限	一〇九、五〇	一〇九、六〇
十月限	一〇三、三〇	一〇五、五〇
十一月限	一〇〇、八〇	一〇〇、九〇
十二月限	一〇二、二〇	一〇一、一〇
一月限	一〇三、〇〇	一〇三、三〇
二月限	一〇四、〇〇	一〇四、三〇
三月限	一〇五、〇〇	一〇五、六〇

大阪株式特電

	拂込	二十日前場止値	同日後場止値
宇治川水	五〇	六五、九〇	……
神戸電鐵	五〇	四八、一〇	……
阪神電鐵	五〇	……	……
大阪電燈	五〇	……	……
山陽紡	五〇	……	……
同新	[illegible]	[illegible]	……
攝津紡	[illegible]	[illegible]	……
東洋紡	[illegible]	[illegible]	……
大阪商船	[illegible]	[illegible]	……
日本郵船	[illegible]	[illegible]	……
大阪米穀	[illegible]	[illegible]	……
東京株式	[illegible]	[illegible]	……
大阪株式	[illegible]	[illegible]	……

大阪期米特電

下關期米特電

二十日前場

當限寄付	一一、七九	
中限寄付	一一、八〇	
先限寄付	一二、九〇	め止

雜報

二十日前場(雨)

寄付	二、七〇	二、六五	三、六六
高値	二、七〇	二、六五	三、六六
安値	二、六五	二、五五	三、四〇
め			

●軍用絨と影響

●粗布續いて昂騰

買氣旺盛

●抗品の愈々拂底に苦しむ福富票に對

一票發表

一圓五十錢の値上

上賃行

●砂糖漸次軟勢

錢の賣買十一圓二十

賣退き

●食鹽の今後

供給不足

滅切高氣配

思惑云々の噂

●精白値下げ

三十錢方の値下

下關相場

京城正米

▲朝鮮一等白米(當用)	十三圓	二十錢
▲同二等白米(當用)	十三圓二十錢	
▲長湍大豆	十二圓三十錢	
▲黄海大豆上品	九圓	三十錢
▲端川海青大豆	十圓	二十錢

南大門の廻米

十九日分	天安白米	二七〇叺	天安籾 七五〇叺
	天安玄米	二七〇叺	天安白米 一四九叺
	天安白米	四〇叺	天安籾 二八〇叺
	天安玄米	九三叺	鷄龍白米 五二叺

仁川現物市場

生魚市場

仁川期米

▲二十日前場

大阪二節十四錢六節十錢と安移

市場零聞

▲前場の商戰

▲前場は保合

▲今筋續て買ふ

安値を報ずる一向應ぜず大阪の續て新

▲同筋の硬化

▲大阪との鞘縮少

大暴落

三百二十二丁鞘

仁川米豆取引所

二十日の十一月限

前場	
寄附	八圓八十五錢
止め	八圓八十八錢
高値	八圓八十一錢
安値	八圓八十五錢
出來高	一萬九千九百石

平均値段	
一節	八圓八十九錢
二節	八圓九十錢
三節	八圓八十六錢
四節	八圓八十八錢
五節	八圓八十七錢

買取組高	千四百石
九月限	千四百石
十月限	七千三百五十石
十一月限	三萬千五百石
出來値比較	

一賣方の警戒

一部投げ退

京東京市場の昨今

北濱だより

寄附	八、八七	二安
止め	八、九二	四安
高値	八、九四	三安
安値	八、八三	二高

▲宇治電の有望說

▲堂島米株

▲寶田石油の成績

田中全兵衛
仁川米豆取引所仲買人
仁川府仲町三丁目
電話長二八二番 一五一

小賣白米

一等白米	十三錢	
次白米	十二錢五厘	

演藝案內

壽館 壽町 電話一〇五〇

當る十五日初日の筈なりしも内地より入の爲め三日延々十八日開演仕候▲本月十八日より浄瑠璃界の女傑娘義太夫竹本燕糸一座

大正館 櫻井町 電話八七三番

九月廿六日より特別大寫眞提供▲日活會社最近の撮影 新派大悲劇『二人妻』全三卷▲舊劇『安達ケ原』全三卷

浪花館 明治町 電話二六〇番

浪界之四天王名人京山若丸一行來る●今晩の讀物『乃木將軍』座長 京山若丸『故井上公の傳』座員數名出演 必ず午後六時に開演仕候

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七番

九月十八日より全部差替 天然色活動寫眞會社

御成座 御成町 電話一九一

第六回替藝題▲二十一日替り藝題『不如歸』全八場▲登場人名 伊井美次郎、石黒忠郎、桂木時夫、川上一明、芳川秀夫、吉田操、藤井駿之介、富士四郎、落野譲之助、酒田君夫、池繁一、清川二郎、白川一志、日野萬兵衛、小役水野利子

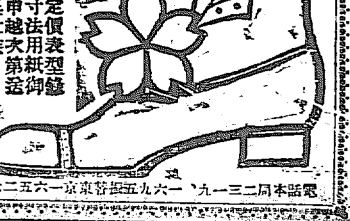
有樂館 新築落成本町 電話二六六

當る九月廿日より日活特選の大寫眞提供

佐久良座 龍山

大阪若手歌舞伎俳優大一座▲當廿日第三日狂言 大阪陣『三幕』▲中狂言 双蝶々曲輪日記 引まど一幕▲切狂言 大和行來梅川忠兵衛 一幕▲入場料 特等一圓、一等七十錢、二等五十錢、三等卅錢 毎日午後二時開演仕候

遊漁船 御案內
仁川水族館正門前
釣道具 御小賣
芹川漁具店
電話七五四番


櫻組製靴
定價表型紙御申越次第送呈
寸法用紙御申越次第送呈
東京市京橋區八丁堀町一丁目一番地
合資會社 櫻組製靴部
電話本局二三一九、一六九五 振替東京一六五二七

優等清酒
鶴
京城本町四丁目電話六五三
本莊酒店

模範牛乳
純粹培養ヨーグルト
太正塚肥料場
京城蓬萊町四
東亞牧場
(電話五二一番)

期米
致富之實無代進呈
前金註文は紹介を要せず
大阪堂島米穀取引所仲買人
㊣橋本猶作
電話長東
振替口座大阪二一四一七二

松田式ポンプ
灌漑用
家庭用
御申越次第目錄送呈
朝鮮一手特約販賣
京城本町二丁目
釘本藤次郎商店
電話長四五番 二七七四番
振替京城二五六番

大岡政談 越後傳吉

第百五十九席

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

後ろに新之助が居るとは知らないから三人が〇『何しろ意氣地のねエ野郎だ』△『まア何しろ今度は巧く行くせ、八州の役人で關口治左衛門といふ人が親分と懇意にして居る、これは同じ役人の佐々木孝之進といふ人と仲が惡い、それで自分が何か功を立てゝ孝之進を取つて押へて出世をしようといふんだ、ナア家の親分を惡い方に掛けちやア抜目のねエ方だから、今度は腕貸しをして日野屋一家を潰してしまつてスッカリ親分の繩張りになつた上で、今度は反對に力を貸して貰つて佐々木孝之進といふ人を自滅させやうつてんだ、こいつが巧く行きやア親分も關東一になれる譯だ』×『さうよなア、何しろ役人が後楯だから大丈夫だ、それで何だらう日野屋でも默つちやア居めエ』〇『先刻新之助が面ア割られて踊つたから定めし騒いで居るだらう、大方明日の朝あたりは斬込んで來やアがるだらうが、さうなりやア此方の思ふ壷だ、上役人の手を借りて締めて了ふ』×『旨いな、其ぢやア今關口の旦那が來て居るのか』△『今親分と一緒に一杯飲んで居らア』〇『早くまア日野屋を潰して了はなけりやアならねエ』話し乍ら行くのを新之助がスッカリ聞いた、自分は日野屋藤右衛門に一方ならぬ恩を受けて居る、數多ある乾兒を差措いて養子にまでして呉れた、藤右衛門のお蔭でおきみと夫婦になつて樂しく暮して居る、その日野屋藤右衛門のために仇敵同様の鷺の宮の大助、先方では擦てより日野屋一家を潰さうといふ企てをして居る、所へ今日の間違ひ、自分がお額へ疵を受けて家へ歸れば乾分の者が承知はしない直に斬込んで行く、さすれば向ふの思ふ壷、上役人の威勢を借りて日野屋藤右衛門を縛げてしまふ、大恩ある藤右衛門の身にかかる大事、日野屋の立つか潰れるかの境ひ、殊には自分の恥ともなる額の疵、必らずこの意趣は返さねばならん、是れはどうしても引返して鷺の宮の大助の首を打落さなければならぬと決心いたしました新之助、行掛けの土産に此奴等を叩切つて了はうと考へた、考へられた奴こそ災難、尻を端折つて跳足になり、後ろからバラ〜〜と追馳けて來て 新『ヤイ待て』と聲を掛けた、吃驚して三人が〇『何だ何者だ』と振返る所を抜打ちにスパリー、先へ立つた荒井の三藏といふ奴の肩先から打放した『三アッ』といふと眞二になつて仆れる

△『ソレ兄弟』と松戸の寄作に加須の八五郎といふ奴が左右から切込んで來る奴を體を開いて空を打たせのめる處を一足踏込んで右と左へ切つて落した、刀は業物腕は冴えたり、一人は筒切り一人は胴切り血煙り立つて打仆れた、一刀を鞘に納めニッコリ笑つて引返して參りました鷺の宮の大助の住居、裏口の方からズッと入つて來ると奥座敷に差向ひで一杯やつて居りますのは鷺の宮の大助に關口治左衛門、女房が酌をして居る、乾兒は向ふの座敷でゴタ〜〜して居る 大『どうも旦那お蔭様で巧く行きました』治『イヤ大助、何しろ好都合だ、新之助が來たさうだが』大『へエ先刻參りましたが思つたより意氣地の無エ野郎で、面を叩割つてやりましたが、グウの音も出さねエで歸つて行きました、定めし今頃は日野屋でも騒いで居りませう』治『左様か其は面白かつた、先方から斬込んで參れば上役人の勢ひを以つて召捕つてしまふ』大『何分願ひます、まア旦那もう一つ……』好い機嫌になつて高調子で話しをして居る様子、女房が 女『お前さん少しお待ちなさい何だかミシ〜〜音がするよ』大『何だ誰も來やアしめエ』と大助がヒョイと振返ると頬冠りをした新之助が障子を開けてヌッと坐敷へ入つた 大『ヤツ汝りやア……』新『静かにしろ、誰でもねエ日野屋の新之助だ、先刻の挨拶に來たんだ、先刻の挨拶に出直して來たから覺悟をしろ』大『ナニを吐しやアがる』新『ヤイ大助能くも最前は此新之助の面體に疵を付けたな、勘忍袋の緒が切れたに依つて汝の素首を貰ひに來た、サア立上つて尋常の勝負をしろ』

▲廣告▼

てんかん 腦神經病

で困る方切手三錢送れ永年の難症も自宅で治す秘密治療の詳細を知らす

〇名古屋市南小川町東洞 救生館

胃病新藥 マーゲン

胃腸快治法(無料進呈)

特約店 京城南大門通二 新井藥房

大阪上本町五 川畑保榮藥房

有効確實 マラリヤ特効丸

本品は胃に障害を與へず且つ何等の副作用なく熱の分離を見連服すれば身體強壯となり再發の憂なし

本舗 龍山元町三丁目 林藥房

代理店 京城本町二丁目 山岸天祐堂

赤毛染 ナイスから

色も艶も申分ない 毛染はナイスが第一

ナイス五大特色

■僅二十分で染る、■永く褪めず、■艶々と黒く美しく、■襟枕に浸着せず、■用法至極簡易、

大瓶六十錢 小瓶卅五錢 男子用廿五錢

發賣 東京大阪 丹平商會

到る處の藥店化粧品店にあり

■安奉沿線五龍背驛を距る二丁 ■閑靜にして避暑に宜し

滿洲五龍背温泉

■風光絶佳にして一大樂園地なり ■諸病に特効あり理想的療養場なり ■宿泊、下宿、自炊、各様の設備あり

大學目藥

進歩せる國民には進歩せる藥劑を要す 是が理想的なるは大學目藥也

理想的完全無比の雨具

見本定價表送呈 東京神田區東福田町九 島村友三郎商店

切味は最上

◎偽發賣御披露 實用安全剃刃の無代價進呈 家庭用新式バリカン破格提供

附屬品、三分替刃、五分替刃、替バネ、油ブラシ、フケ取、耳カキ、丁字捧、以上一式付

特製一組壹圓四拾錢

一通りのバリカンを備へて置けば何時使用せばかゝる病源の代價は只となり經濟にして便利少なからざれば上家庭衛生の爲御備へあれ

◎今回發賣御披露の微意を表しバリカン御購求の方に注文品一箇毎に◎實用安全剃刀切味請合サック付を一千個を限り無代進呈す◎御希望の方は此の特價提供の好機を逸せずハガキにて御注文あれば即時代金引換小包送料實費にて發送す

東京市淺草區北三筋町一番地 電話長下谷五四五番 振替東京三三三五番

神山商店

院長 岡山醫學士 村上德一

内科 小兒科 婦人科

京城醫院

京城本町二丁目 (電話七四二番)

景品付の澤之鶴其佳味ある處を試よ (京本一)

壹升に付拾五錢安い其眞價を試せ (電二九)

澤之鶴

於米國桑港萬國大博覽會 名譽賞受領

灘酒造石崎合資會社

佐藤牧商店

クラブ齒磨二萬袋を進呈せり

既に八月十五日迄の登山者に對し富士の頂上にての御使用料として

七月十五日以後の富士山は

滿山只是れクラブ齒磨の香に匂ふ

本年の富士山は滿山クラブ齒磨の香に匂へり尚登山道の各石室並に絶頂の金明水及銀明水にはクラブ水齒磨を備へ付け登山者各位により自由に使用せられ勞苦を忘れ氣分を奮起し又各石室並に頂上にはクラブの寒暖計及海抜標を設置して登山者各位の甚大なる便利を計り頗る好評を博せり

滋養大關 文亞燐

のめば段々肥つて段々丈夫!!

病人に力を附ける藥 病後の疲勞を復す藥として 醫界の御賞用品なり

本舗 大阪道修町 藥劑師 小西久兵衛

▲定價 五拾錢 九拾錢 壹圓參拾錢 ▲各藥店にあり

優良石鹸 都の花

汽車 京釜 前 後 同 湖南 南行 北行 京仁 京義 京元 北行 南行 [illegible]

京城日報
第三版
年中無休刊（大祭祝日翌日休刊）
發行所 合資會社京城日報社

朝鮮開發の五年

五 財政と金融（五）

税制の整理（續き）

市街地税 本税は大體集團戸數千戸以上を有し市况殷賑なる市街地を選定し其の區域内に在る垈、田、畓、池沼及び雜種地の地目に限り賦課するものにして、其税率は各土地の地價千分の七とす。此等の市街地は從來概ね地税を負擔せず、加ふるに近年交通の發達と諸般施設の進歩に伴ひ其發達顯著にして土地の收益を增加したる收況に在るを以て、之に對し適當の課税を爲し以て一は市街地外に於ける土地の負擔即ち一般地税との負擔の公平を期し、一は歳入の增加を圖らんが爲め大正三年地税增徵と同時に本税を賦課することゝなれるなり。税令施行の際に於て本税を賦課する市街地は京城府外二十五箇所なり

戸税及家屋税 戸税は舊慣に依り一戸を構ふる者に對し賦課し來りたるが戸籍制度の缺如したりし當時の賦課戸數僅かに五十一萬餘戸に過ぎざりしものが民籍の査制等完備したる大正三年九月一日現在は實に二百六十萬餘戸に上れり。家屋税については併合後特に施設整理せしものを見ざるも其施行地域に關しては大正元年十月之を整理し更に同三年三月府令を以て居留地制度撤廢の結果舊居留地雜居地等の市街地に對しても亦本税を課することゝなれり

酒税及び煙草税 明治四十二年初めて賦課せられたる酒税については何等改廢をなさゞるも税法實施を勵行したる結果當初十九萬七千餘圓なりし税額は大正三年度には四十七萬餘圓に上れり。煙草税は家屋税及び酒税と共に明治四十二年より賦課せられ、當初耕作税及販賣税の二種に分課し來りしが、大正三年度以降新たに製造煙草の消費税並に製造税の二税目を賦課するに至れり。之れ朝鮮に於ける煙草製造事業の發達顯著にして消費の夥しく增進したるに因る。驛屯土、驛屯土とは驛土及び屯土の併稱にして、驛土は古來地方にありたる驛站の經費を、屯土は各官廳の經費を支辨する爲設けられたる國有地なりしも明治四十一年驛屯土の全部は之を國有に歸屬せしめ舊來舊韓國政府度支部之を管理し從前の如く之を小作に附すると共に漸次其の改善整理を行ひ、更に小作料改定の目的を以つて明治四十二三年に亙り實地調査し四十四年度より改定小作料を實施せり。然るに右改定小作料は民間小作料に比し著しく低廉にして經濟上及び驛屯土管理上惡影響を及ぼす弊あるを以て大正三年度財政計畫と相俟て驛屯土小作料の四割を增率する事とし同年之が改定を行ひ又之に對して相當施設を行ひ其の管理を確實にし弊害を防ぎ小作料の公平を維持し小作人を保護獎勵して其の利益を計ると同時に政府の收入を增加するの方針を以て管理し來れり。

以上の如く大正三年度には財政計畫の必要上地税を增徵し市街地税及び煙草消費税を新設し又驛屯土小作料の增率を行ひたるが、其計畫は地税二百六十四萬餘圓、市街地税二十九萬餘圓、煙草税四十五萬餘圓、驛屯土小作料四十六萬餘圓合計三百八十五萬二千餘圓を增收せんとするにあり、右增徵の實施については極力周知徹底に努めたる結果、個財界の不況なりしにも拘らず昨年度は圓滿に徵收を了したり

內鮮人の負擔額

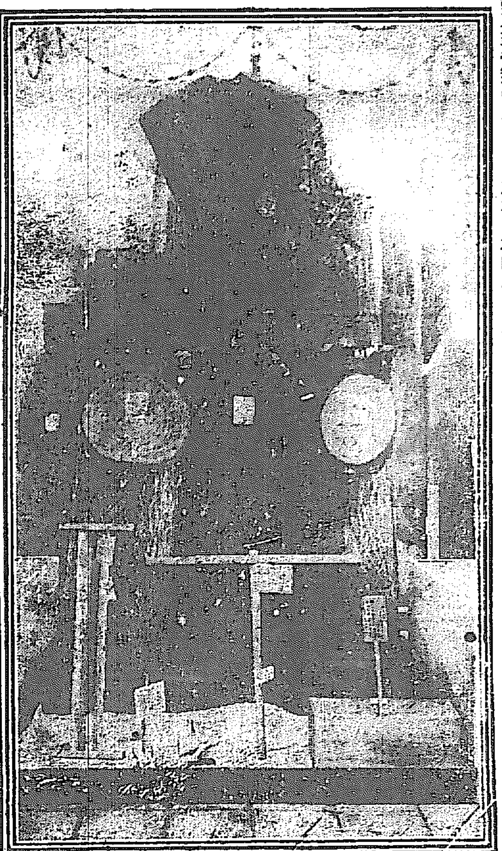
朝鮮内に居住せる內鮮人の負擔すべき課税額は之を母國の同胞に比すれば頗る輕微なり。例へば大正三年度に於ける直接税額は國税千四十二萬八千餘圓、地方費九十九萬八千餘圓、府税五十三萬六千餘圓、面賦課金二百三十三萬千八百餘圓、合計千四百二十九萬五千餘圓にして平均一戸の負擔額は府に於て八圓五十六錢、面に於て四圓七十三錢に當り、內地人は別に學校組合費の賦課を負擔するが故に平均一戸につき七圓乃至十二圓を納入する義務あれど、之を母國の同胞が一戸につき三十三圓內外を負擔するに比すれば在鮮內地人は約二分の一、朝鮮人は三分の一乃至六分一を納金するの義務あるに過ぎず、殊に間接税の如きは朝鮮に於ける內鮮人の負擔甚だ輕微なりとす

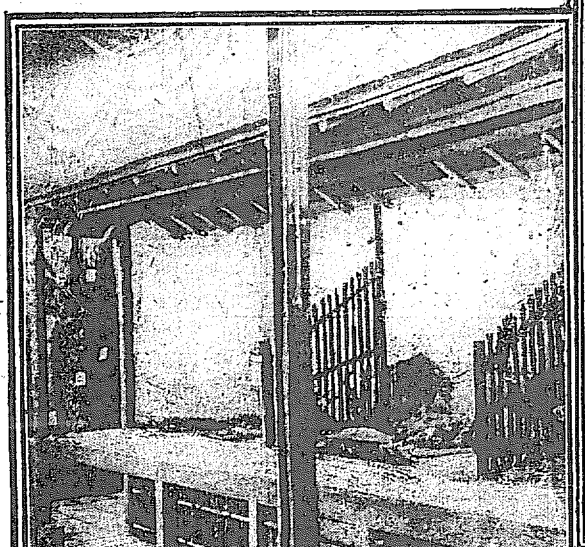
大共進會 出品概觀（八）

第一號館（林業）

▲左側の出陳物 第三部林業の入口には左右に鮮內用材の主位を占むる朝鮮松の門を設け其上部は林業の額を掲ぐ、此門松は周圍六尺に餘り枝を配し蔚た絡ませたる樣宛然生けるが如し、中央の通路より南北各五十坪を劃し左は種苗及び木竹製材類を並べ右は林產物、模型其他林業に關する一切の參考品等を陳列す

通路の左側に沿へる二箇の種苗圃壇は十月五日より植込の筈にて目下はたゞ砂利を敷けるに過ぎざるが木竹材類には各道の出品を網羅し鮮內に於ける有ゆる樹種を蒐集して其數二百三十六點に達せり、就中平南の黄楊、全南の躑躅及び白檀等の如きは內地に在りては到底見る可らざる珍材にして櫸、朝鮮松、槐等亦稀有の巨材なり、殊に種苗圃壇の中間に樹てる桐丸太は樹齡二十餘歳に過ぎざるも周圍八尺に餘り、丸太材中の權威として觀客の鑑賞を恣にせり、此他椎茸の發育狀況を示せる楢木、櫟君此樹下に生れりと傳ふ檀木等見る可きもの多く、全南潭陽、慶北河東兩郡の出陳に係る竹材亦頗る見事也





（右）桐の巨材＝第一號館山林部（左）殖林と產業の說明＝同上

▲右側の出陳物 中央路の右手は入口に近く上部に各道に關する標本を掲げ、其下方には各道の木炭を陳ぶ、之れと對せる京畿道國營造林地の模型には其上部に轉寫眞の裝置ありて造林の作業狀況を示し又た左側にはクロマツ、アカマツ、カラマツ、ヤマハンノキ、ニセアカシア及びクヌギの六種を植ゑて施政當時より今日に至れる生長狀況を現はし、植栽後百年目を寫せる中央の朝鮮松は樹の內部を繰り拔きて造林に關する風景畫を嵌めたり、其西手に据えたる李王職花山森林の大模型も亦上部四面に額ありて十四枚の寫眞を掲げ左側には此處に移植せんとする樹種の一年生及成苗を栽植す、之より以西は樹實、液、樹皮、食料菌蕈其他林業副產物等尚ほ多數の出品あり、樹實の如きは從來悉く內地の供給を仰ぎ居たるが今日に在りては却つて之れを內地に供給するに到り、又昔時各地に多產せし漆液は近時產額多からざるも極めて良質なるを以て斯業の將來は嘱目の價値ある可し、尚ほアベマキ樹皮の如きは慶尚南北地方に饒產し其質良好なれば頗る多望の前途ある可く、尚ほ五倍子は深林の副產物中主要の輸移出品にして出陳二十七點を算し葛根中には長さ一尺五寸、周圍五寸に餘れる尤物あり

避暑漫筆

大谷光瑞

十一、大風（承前）

事稍專門に渉ると雖も低氣壓の中心示度は一定せず時に七百十一、二ミリメートルに下るとあり（七百ミリメートル以下は今之を聞かず）其中心なるものは頗る狹少にして其小なる程暴威を強くし中心直徑と威力は反比例をなせり北緯廿度前後に至るまでは多く海上に在るを以て中心示度を知り難し二十度より卅度に至る間は所謂反轉をなさんとする孤圈に當り住民を有する島嶼を通過するを以て示度を殆ど明了に知るを得三十度以北は漸次氣壓昇騰し猛威を減ずると雖も附近に高氣壓の存する時は高低の差甚だしく爲めに風力依然猛威を減せず東京の前年大損害を蒙りしが如きはこの種類に屬せりこの中心附近の風力の猛烈なるや每秒三十メートル以上の風速を有するを普通とし時に五十メートルに及ぶ事決して稀有にあらず夏秋の候日本より南支那海に至る航海は實にこの危險を冒さざる可からず海上に於ては巨浪山の如く風と浪との爲め其困難陸上に比す可からずと雖も損害は却て港灣繫泊中の時に及ばず港灣に至ては大小船舶幾十隻に及び皆猛風の爲に自由運動を切斷せられ猛風の爲に錨鎖をなす能はず避んと欲するも能はず衝突擱岸等は必定の運命なりとす香港の如きは常にこの損害を蒙れり本年七月二十八日上海も亦河岸に汽船を擱坐せしむ家屋は多く窓を破壞し中より屋根を吹き上るを通常とし幾層の高樓に於ては下層は戸を破り隙室を通じ破壞をなす堅牢の建築は損害輕微なれども脆弱なるものは地に委するを通常とす而も必らず雨を作ふを以て壁土は流失し一層家屋をして抵抗を微弱ならしむ人命の損害の如きに至ては全く疎虞警めさるより生ずるものにして豫めこれを知らば臥床の病者と雖も避け難きに非ず若夫人命を損ずるに至ては自から招くの失か否らざれば氣象臺長の未熟失敗の罪か政府其費を吝みたる罪か三者の中を出でざる可し今年七月二十八日の大風襲來實況を記し此項を完了せんとす（未完＝大連に於て）

訂正 前號及び前々號大風の順次を『十三』とせしは『十一』の誤り

日報俳壇

雉子郎選

秋晴

秋晴の旅程に三度渡海かな 橙黄子
起工式と眞似に杭打つ秋日和 同
諳むに開けしまゝに遊ぶ秋晴 同
秋晴や砂利採るを見つ乘る渡舟 同
鐵橋にすれ〳〵の帆や秋の晴 同
秋晴や覺束なくも漕ぎ出る 韭城
衣を濯ぐ筏の上や秋晴るゝ 同
大峰や笠雲消えて秋晴るゝ 同
大峰や秋晴て海たのもしき 東村
秋晴や連れなき甥を送る驛 山吹女

秋風

船客や物忘れ乘る秋の風 義朗
秋風の水瓶に落つ手巾かな 同
秋風や手に取る玉の底光り 同
秋風や幼主つゝしむ法會の座 北星

初嵐

疊かへて明るく住めり初嵐 空螺
偃越えし潮落ちつあり初嵐 義朗
初嵐鶺を二三羽の小百姓 靑奴

秋雨

嫁にやれば近きを欲す秋の雨 義朗
奥の間や床上げてある秋の雨 同
秋雨や草の根に居る裸虫 同
秋雨や今は亡き古茶碗 同
擔軍の荷の庇かや秋の雨 山民

日本 朝刊附錄共八頁

▲技術者のみを以て組織せる理想的工場▼

營業要目
一、陸舶用 吸入瓦斯機關
一、陸舶用 高壓無點火重油機關
一、陸舶用 高速度輕油機關
一、ターピンポンプ
一、セントリフューガルポンプ
一、一般揚水排水ポンプ
一、工業上の相談及工事上の設計監督

大阪府西成郡鷺洲町大仁一六五（阪神電車北大阪線大仁新道停留所北入一丁）
大阪機械工作所
電話土佐堀二七八九番

所長 技師 石光眞俊（舊姓大隈）
支配人 技師長 工學士 鶴澤一作
工務部長 技師 市川克己
舶用機關技師 工學士 仙波修三
特約販賣店 名古屋市東區富士塚町 大隈麵機商會
佐賀市點合町 鶴澤麵機商會

▲技術者のみを以て組織せる理想的工場▼

共進會と三越

▣共進會を御見物の際は參考舘に於ける當店の出品を御見落しなく御覽下され度候
▣共進會の歸りには是非三越へ御立寄下され度當店には左の如き興味ある催しを致候

九月二十三日より三十日まで
新柄 仙臺所會
秩父伊勢崎銘仙の優秀なる新柄を多數荷揃へ御覽に供し候
丸帯織立ての實況を御覽に入れ申候
九月二十三日より當分の間珍らしき
這回織物の本場なる京都西陣より機織の名手を招聘致し店內に織機を据付け大典に因みある麗はし糸錦丸帯の實地織立てを御覽に入れ候當地に於ては誠に珍らしく且つ興味あるものに御座候間何卒御來觀奉願上候

京城 三越吳服店

列強大戰

▲激戰到來 軍事通の觀察

露都來電に曰く軍事通の觀察する所に依れば西南方の全線にては今や軍略上重要なる期間に入りたるを以て同方面に於て巨大なる軍勢を用ひ必死的戰鬪を交へてワルソー戰以來の大戰鬪を展開するに至るべき日近きにあり此方面に於ける獨軍の前進は阻止せられデラジの西北二十五哩に在る露軍は西部ウオルヒにある南方に於て成功を收め更にガリシヤ地方に進軍しつゝありウイルナ及びオラニー地方に在る獨軍十五軍團は露軍の退路を遮斷せんと努力しつゝあるも敵軍も危險の地位にあり殊にウオスウエンチアニー附近に在る敵軍の一部隊は退路上包圍の危險を以て威脅せられつゝあり右軍事通は結論して曰く前述の戰鬪はオラニー、ウイルナ、スウエンチアニー、ウイレイカ、モロデシノ、リダを陷形線に於て行はるべし(倫敦發)

▲露軍益々優勢

敵軍がドビンスクの西方及び南方に於ける露軍の陣地に對して行ひたる連續せる攻擊は露軍に取りて多大の損害を蒙りて擊退するの餘儀なきに至らしめたり敵はヴイレイカ(ヴイルナの東方五十五哩)を占領せりヴイリヤ河の諸徒涉地點及びヴイルナの附近に於ては猛烈なる戰鬪行はるスロニム(ビエルストクヒの東方九十哩)の南方に於て敵は船に乘じてシヤラ河を渡れり露軍はコーヴエルロヴの戰線に於て一般に亘る攻擊をなして功を奏し敵は算を亂して退却し露軍はデラジー附近に於てコ千六百名の捕虜を獲たりセント河の右岸に於ける戰鬪も露軍の勝利に歸せんとしつゝあり(露都發)

◎帝政將來 一般民態度冷靜

轉任を命ぜられたる元駐支派遣隊長白河陸軍少將は語つて曰く支那帝政問題に對する湖南方面の支那人の理想は區々なれど概して巡按使初め官憲側に贊同し一般人民は贊否何れとも斷言せず帝政も人民に取りては利益なれば可なり然らざれば不可なりこいふ極めて曖昧なる態度を以て冷淡なり併し巡按使一派の輩が今後進んで活動を繼續するに於ては自然反感を買ひ動亂を醸すの虞あるやも計られず又帝政施行期が何れの時なるかは斷言すべからざるも歐州大亂終熄前に素速く實現し了かんとするに似たるも成行如何に依つては意外に早く斷行するやも知るべからずと(東京特電)

◎張巡按使轉任

張巡按使は內務次長に轉任し後任は陝員の儘なり近く東三省經略使の軍政實施せらるゝ爲なりと推測せらる(奉天特電)

◎皇弟淺間御成

英國皇弟コンノート殿下は軍隊御觀閲の途次コスカイモートルに碇泊中の帝國軍艦淺間に成らせられ吉岡艦長と御會談あらせられたる旨海軍省に電報ありたり(東京特電)

◎帝國大方針の決定 首相邸重要協議

二十日午前十時永田町首相官邸に於て外交に關する重要協議會開かれ大隈兼攝外相、松井次官を始め小池阪田兩局長、陸海軍法政局各高等官出席外交問題に關し種々協議を凝らしたるが其內容は歐洲に於ける戰局の推移に伴ひ今後國際間に締結せらる可き總ての條約其他に關する帝國の大方針を決定したるものなりと確聞す而して右は去る十八日大隈兼攝外相が英佛露三國大使と會見の結果に由るものなりと(東京特電)

◎井侯嗣子襲爵

故井上侯爵嗣子勝之助氏に對し二十日左の如く襲爵仰付られたり(東京特電)

故侯爵井上馨家督相續人 正三位勳一等 井上勝之助
襲爵被仰付

◎乃木伯爵叙位

伯爵乃木元智氏に對し二十日左の如く叙位の御沙汰ありたり(東京特電)

正八位勳六等伯爵 乃木元智
叙從五位

◎伊藤中將陞叙

過般豫備となりたる伊藤陸軍中將現役中の功勞を錄し二十日左の如く特旨叙位の御沙汰ありたり(東京特電)

陸軍中將正五位勳二等功三級 伊藤瀬平
叙從四位(特旨を以て位一級を進めらる)

◎津守男爵以下陞叙

二十日宮中に於て叙位式を行ひ男爵津守國榮氏以下六十八名に對し久我宗秩寮總裁より位記傳達ありたり其重なるもの左の如し(東京特電)

正五位勳六等 津守國榮
叙從四位
從五位男爵 荒尾之茂
從五位勳三等功四級 長尾駿郎
叙正五位(各通)

◎兵庫縣觀光團

兵庫縣の滿鮮觀光團十九日來著醫學堂附屬地、北陵宮殿を觀覽して二十日夜大連へ向ふ(奉天特電)

東京發別電

◎御大典と京都

御大典の際京都に集るべき參列者並に拜觀人は一百萬人に達すべき見込なり

◎滿鮮觀光團募集

鐵道院にては始政五年記念朝鮮物產共進會を機とし滿洲朝鮮觀光團の募集を開始したり

◎軍需品と大會社設立

露國軍需品製造を引受くべき民間大會社設立の議は大に進捗し早晩具體的成案を發表するの運を見るべし

◎米國と英佛募債

米國に於ける英佛の募債は頗る好況となり來れり

◎ウイルナ陷落す

ウイルナ迄に陷落す獨軍は鐵道交叉點占領遮斷の目的を達し露都ペトログラードに至る基點を共手中に收めたるも露軍の形勢猶安固にして南方ガリシヤ方面に於ては却つて獨墺軍を壓迫し頗る優勢なり

朝鮮大共進會

十三道陳列競べ

□大豆はチゲに綿は車に 三方の壁は全部ジオラマ式の慶南

天井から飛行機の樣に二匹釣り下げられた貨物大の神饌と大饌の模型標本に見物を驚愕せしめてゐる審勢館內慶尙南道の部に步を進めると三方の壁は全部ジオラマ式の風景繪、右から行けば第一が釜山港の全景、それから晋州附近綠肥大豆栽培狀況、正面は金海附近の

▲三大沃野の景と あつて次が慶南全道の地理模型、一地方々々で郵便局、學校、郡廳から產物までで小さい札で示された精巧なもの、次が密陽、釜山小學校飯田訓導の製作だが玄人も三舍を避ける出來ばへ、左に曲つて密陽水利組合地域の景、三牧草栽培地の景、學校生徒農事實習狀況、晋州附近の光景と恰も足その地に在るか樣、再び初めから見直すとその風景畵の前には千二百年前河東郡雙溪寺に建設せられたといふ塔を二分一に寫した模型、それが河東名產の陶土で造られてゐる外に河東產陶土の製品の各種、陶土の原物、帽子、團扇

▲その上に工產額 の表があつて、明治四十三年の百三十五萬三千圓から大正三年の二百九十四萬圓までの增加を現してある、その他化學製品では蠟燭の產額十九萬圓とか清酒が三十萬圓、千麵類六萬圓さとえの鑵詰二萬圓、木製品六萬圓煙草十六萬圓と云つた風に一つ〳〵實物とその產額を並べたのも面白い外に本道の工產物中で見る可きものとしては螺鈿細工、轆轤細工の如きものも大いに觀客の注意を惹いてゐた、綠肥大豆の普及は實物をチゲに負はせ明治四十四年の十六町步から大正四年の五千町步までを陸地棉は四十四年の二十四町步から

▲大正四年の三千 町步まで車に積せて、普通農事は白粟の倉庫で四十四年の百十一萬石から大正三年の百六十三萬石までの增率を示し、地理模型の前には落花生、小豆、大豆、大麥、小麥、中羽煎子、玉蜀黍の柱、天草、寒天等の標本を各纏詰にして陳べてある、又優良米の普及狀況は水田の模型を重ねて四十四年の百十二町步から大正四年の一萬八千町步迄をその廣家に依つて改良雞は模型で四十四年の千四百羽から大正四年の二萬一千羽、卵は實物で同じく六萬四千六百個から十萬六千個まで

▲畜產は牛の模型 で同じく四十四年の八萬二千頭から大正三年の十三萬八千頭まで各增加狀況を一目に見える樣に、敎育も亦校數と生徒數を校舍の大小で普通學校の四十三年八校千九百七十六名から大正三年の三十二校と四千五百六十四名、小學校の同じく三十五校四千八十二名から五十六校六千七百二十五名まで發達を表してある、その他統計は三角形の回轉式にして一箇所に立つてゐて全部が頭に入る趣向、中央鑵と鑵の下には漁船の實物模型で明治四十三年の千百八十八隻から大正三年の三千三百五十九隻までの增加を表し別に漁業地の使用漁具まで示した地理模型を置いてある

▲宮殿下と奉迎 協贊會の決議

近く御渡鮮あらせらる可き閑院宮同妃兩殿下の奉迎に關し京城協贊會にては八九の兩日理事會議を開き種々協議の結果、當日は龍山停車場に綠門を作り光化門外各三箇所の入口には大國旗を交叉し門前左右の迎柱を裝飾すること及び殿下御滯在中は各戶國旗の掲揚方を府廳に交涉すること並に會場內には餘興の一として活動寫眞、錦裏手に朝鮮人の綱渡を催すこと等を決議せるが尚ほ協贊會にては鐵路及び京城電氣會社前に掲示板を設置し共進會に關する日々の記事を掲示す可しと

▲對馬觀覽團來る

對馬日々新聞社主催朝鮮共進會觀光團一行百名は十月七日出發渡鮮の旨協贊會に通知ありたり

▲共進會委員會

共進會委員會は二十日午後二時より共進會事務所會議室に開會、持地局長、兒玉局長、山形大佐以下各委員參集し共進會に關する諸般の事項に就き打合の上午後五時散會したり

▲日曜の水族館

十九日は日曜のこととて水族館開館以來の盛況を呈し入場數四千三百人これ京城より軍艦觀覽を兼ねたるもの多かりし爲なり

▲水族館觀覽團

仁川水族館二十一日の觀覽團は黃海道松禾郡甲組七十人同道殷栗郡甲組六十人忠淸南道瑞山郡百四十人二十二日は黃海道安岳郡百十四人水原學校生徒八十人なりと

▲興行物と建札

京城協贊會にては十九日午後理事會を開き市中の主要なる個所に建札を立て其の他の興行物餘興等を精しく記し一般觀覽人に知らしむることとし近日中より實行すべしと

◎國語問題如何 貴族院議員 木村誓太郎

朝鮮を初めて觀る者は誰しも同一であらうと思ふが內地で想像して居たのと實地に來て見たのとは雲泥の相違である、自分も亦其一人で先づ第一に釜山埠頭の偉觀に驚かされたが京城に來て見て一層此感を深ふするものがある、市街の整頓、商家の繁榮、交通の發達等都市の面目を備へてそこに遺憾がない

▼共進會も一度二度 共進會なんかは一度一寸見た位では何にも研究が出來るものでないから是非とも三回會場に行つて一々出品物を巡覽して見たが是等の出品物に對しても市街に對して驚いたと同樣只感心の外はない併合後僅かに五年と云ふにあれ丈の生產品なり加工品が出來る樣になつたのは全く總督施政の恩澤と云はねばならぬ、就中敎育の普及したる點に就ては更に深甚なる讃辭を呈するに吝ならぬものである、併し門外漢なる自分は此機會に於て一言敎育上に關する卑見を述べて見たいと思ふ

▼朝鮮語を全廢せよ 共進會を觀覽して居る際に偶々未知の一敎員と會談した所に依れば朝鮮人の敎育は日本語及び朝鮮語を併用して居ると云ふことであるが、私の考へでは一日も早く日本語のみを以て敎育して貰ひたいのである、今直ちに之れを斷行することは種々なる點に支障を來すであらうと思ふが一日遲れると夫れ丈け朝鮮人の發達が遲るゝのであるからして萬難を排して此方針を採つて欲しいものだと思つて居る、幸ひにして局に其人を得て鮮人の敎育は日に月に進步し普通學校などに通つて居る生徒の口から父兄に國語を敎ふると云ふ樣な有樣だと聞き自分は非常な興味を持て居るのである

▼內地から觀た朝鮮 朝鮮と云ふ問題に就ても從來は內地の人々が餘り注意して居なかつたものであるが近來產業の發達やら交通機關の進步やらの點から內地と殖民地との取引なども開かれ密接の關係を結ぶ樣になつて來たことは慶て是れ殖民地の進步發展して行く象徵であると信ずるのである、進んで內地の資本家等が朝鮮の富源に向つて資金を注入することゝもならば茲に始めて母屋も分家も彌榮え行くに違ないと思ふ、此點は座して內地資本家の來訪を待つよりも在鮮有志家の奮發も亦大切な條件である

◎總會と參列者 會員萬を越さん

十月二日昌德宮內秘苑に於て擧行の筈なる日本赤十字社並に愛國婦人會總會の參列者は目下各地方支部に於て取纏中なるが二十日までの申込者は京城本部を除き四千六百九十餘名にして赤十字社員三千百七十二名、愛國婦人會員九百七十六名に達せるが之れに京城本部の新舊社員を合せば赤十字社員は三千六百餘名、愛國婦人會員は二千餘名を算す可く尙ほ各道支部よりの申込續々到達しつゝありといへば愈々總會擧行の當日には少くとも赤愛兩會員を合し一萬人以上の參列者を見る可しと

◎平赤總會と鮮鐵

鐵道局にては十月七日平壤に開催さる可き赤十字社、愛國婦人會參列者に對し黑橋、新安、太平及び鎭南浦各驛より平壤に至る區間の乘車賃金を三割引となすに決せりと

◎八月中の物價

朝鮮銀行調查に係る八月中の主なる物價商底左の如し

▲騰貴品の部

玄米及び精米● 前月來農家賣惜みの裡に推移し且つ一部地方には旱魃害の聲をさへ高むるあり、米價は月初以來漸騰の足取を呈し中旬に入りては定期市場の依然昂騰するありしが爲め一層商氣配を維持するに至りしが其の後慶北地方其の他の旱害地に降雨ありて自然人氣を弛めしむるものあるに加へ先き期米の行悩へたると買手の商値見送りとに餘儀なくせられ再び安含みの裡に越月したり▲小麥● 引續き仕込屋筋の買望多くして入荷に連れ取引絕えず行はれ頓に好調を呈するに至りしかも下旬需要の一段落と共に望薄となり漸次不勢に傾むきつゝ經過せり▲藥●煙草● 時下漸く端境期を迎へ產地在荷薄と共に入荷途絕えたる爲め月末に入り相場幾分上向たり▲薪●炭● 產地在品の拂底せるのみならず前月中再三の豪雨にて通路破壞せられ山出困難となり運賃の引上られたる結果相場頓に上騰するに至れり▲麥粉● 市場品薄の折柄內地先高の入電ありしが需要の依然拂なしからざる儘に上物鳳印の如き尙ほ前月下旬の低値を保合ひ敢て變動するなかりしも普通物羽根印は眼先き鮮盆を控へたることゝて中旬以降十錢高を唱出したり▲綿糸● 例年の不賣時にて久しく相場保合ひ取引閑散を極めたりし本品も中旬以後舊盆の接近し來ると共に賣行漸く良好となり市場色めき活況を呈したる折柄內地市場に於ては孟買棉の突飛高と支那向輸出の旺盛とに依り相場頓に昂進に傾きしかば當地市場も之に伴れ逐日上進の一方なりしが眼先き內地に在りては九、十月の秋季需要旺盛期を控ふるが故に今後自然需要の逓增し來るに於ては尙ほ一般の商値を免かれ得ざるべきかと想はる▲金巾● 月初は尙ほ不賣時季の裡に在りて自然前月の繰越荷として斂ふ可きものなく下旬に入り弗々需用季に差し懸れると舊盆の引當てに入荷の一時に激增せるものあると共に荷動き果然良好に傾き來りしが折柄內地にては支那向輸出頓に旺盛を極め各紡績會社孰れも一二箇月の先約に應じ在荷の減少と相俟つて先物拂底を告げ相場昂上の一方なりしかば一時當業者間競爭値崩しの觀ありし當地市場も之に伴ひ滯次高調を以て越月することゝはなれり▲燐寸● 方に農繁季に際し製品不足勝の故を以て前月中旬來稍く相場を持直し來りしが最近更に曹酸加里其他の原料高に連れ一般に高含みを呈するに至れり(未完)

人事消息

▲三島太郎氏(鮮銀理事) 十九日內地へ
▲吉田節太郎氏(鮮銀東京支店長) 二十日午後九時入京朝鮮ホテルに
▲アーロ氏(英商人) 同上
▲龜島豐治氏(鮮銀仁川支店長) 二十日夜入京旭尾旅館に投宿

東西南北

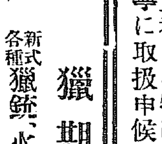
…和國多武峰に此頃藤原不比等の墓か發見されたが不比等は淡海公と言ひ…
…將校は眞ッ赤な服にナポレオン型の…身である▲西藏軍人の服裝…西藏の…
…八里の處に人迹稀なるニップ原野と…
…判に附せられた嫌と聞いた同じ仲間…

內外各國食糧品
神佛御婚禮御進物用品一切取揃へ居申候
京城本町三丁目 森川商店 電話九三五番、二一〇七番
富貴味噌製造元 高陽郡恩平面內洞(獨立門外) 森川萬富園工場

自轉車はミヤノに限る
販賣品は極度の安價にして
修繕は至極親切叮寧に致します
京城南大門通 新井藥舖前 電話二三七三番

京染 西陣織物各種 友禪 白生地 京城 たまや吳服店

大擴張 武藏旅館 京城南大門驛前
共進會觀覽者には特に御便宜叮寧に取扱申候
電話二三六四番

內外銃砲火藥獵具類

獵期迫る!!!
新式各種獵銃、火藥、獵具類一切
並に小年用空氣銃各種
品揃ひ
◎二錢切手封入御照會あれば定價表規則書無代進呈
東京市神田區柳原河岸廿二 桑原銃砲店 電話浪花一三六九番 振替東京二〇三九五番

最上薄口醬油 生揚印 發賣仕候
永登浦 大塚醬油釀造所

登錄商標 赤十字印 コロダイン
何れの家庭にも必要なる救急藥
本劑は効力非凡の良藥諸君は是非試し見よ○全國藥店にあり
効能 食あたり○むねはらいたみ○はき下し○氣つけ○悪心○めまい○不消化の時
東京日本橋上槇町 滿洲安東縣市場通 安川晃榮堂
藥價十錢廿錢卅錢五十錢一圓

露西亞物產雜貨一式
歐米洋酒食料品
北鮮產石鍋石器類
元山府仲町 西澤商店 電話四六四番 振替京城二七四九

[illegible]父を失て以來[illegible]の三人暮しなるが母親は[illegible]産後の肥立惡く床に就き[illegible]は子供ながら心配して母親の看護は[illegible]古田龜松二男[illegible]

二十日の十一月限

[illegible]日前の洪[illegible]を聽し毎日午後七時より十二時まで[illegible]獄近中出た▲藤原不比等の墓[illegible]げた工賃十圓を當[illegible]泥棒に入つ[illegible]大[illegible]

[illegible]劇の中に伊藤みつ(三)と言ふがある之は伊藤銀月の妹で小學校本科正教員の免狀を持つて居り女子師範の出である丁度日本の廣目屋の主人と言ふ形であるさうな▲大墓人を呑む[illegible]北海道鐵道沿線の美深市街を去る約[illegible]

[illegible]斷る[illegible]大阪日本橋筋大政官の館の乾[illegible]兒小田貞二郎(三)は殺人未遂罪で公[illegible]判事「お世話は要らない」と妙な[illegible]呵を切つたので兩辯護士は呆氣に取られて法廷を引上げたさうだ

大正共進會

新進飛行家晴の飛行

廿八日より共進會場訪問

準備の爲め帝國飛行協會澤柳少佐の入京

帝國飛行協會の澤柳少佐は十九日夜南大門着入京せり、用務は既報の如く係て京城協贊會と交渉中なりし協會の飛行機派遣の件は去る三日を以て全部の交渉決定したるを以て飛行家尾崎行輝氏の入京に先ち種々飛行上の打合せのためなり、二十日は早朝より總督府に兒玉伯其他を訪問し次に京城協贊會に赴き事務員等と協議を遂げ午後よりは龍山練兵場の踏査をなしたり、語つて曰く

□機體廿四日龍山着

朝鮮は三十四年に來た許り、全く隔世の感ありである、昨夜南大門に着ても一向昔遊の地たる記憶がない、其當時の朝鮮と云ふものは所謂露國の勢力範圍にあつたものであるが今日は始政五年の記念共進會すら開かれる樣になつた、而かも其當時は飛行機の飛の字すら云はなかつたものが飛行大會を催して會場訪問を行らうと云ふのだから大した變りやうだ今度持つて來る飛行機は例のモ式三重號で操縦者は尾崎行輝氏である、三重號は十九日神戸解纜の大阪商船チョイサン丸に積込み二十三日朝仁川着廿四日飛行場に搬入の筈である

□二百餘坪の格納庫

三重號は機體も發動機も全部和製で重量一噸(二百七十貫)高サ二間半長サ八間半巾十間で價格にすれば約七八千圓位だらう、三重號の渡鮮に就て三重縣民の騷ぐのは別に飛行機全部の購入費を出したと云ふ譯でもないが多くの寄附をしたので機名か三重號であるからして卒業後の榮ある飛行を三重縣でしろと云ふ意味である、しかし飛行機は出來ても此れを持て行くには三倍も四倍もの費用が入るのだからして仲々注文通りにするには六つかしい廿四日迄に龍山練兵場內の飛行場に三百坪位の格納庫を建築し二十五日から組立に取りかゝり二十七日迄に終り二十八日から飛行に着手することが出來ると思ふて居る

□新進有爲の尾崎氏

現在吾協會では十七萬圓の資金と三臺の飛行機を有して居るのであるが飛行家としては今回卒業した尾崎氏唯一人である、云はゞ尾崎氏は帝國飛行協會の一人息子と云つた格だ、尾崎氏の技倆に就ては屢次新聞紙上にも紹介された如く飛行家として缺くべからざる敎育、體格其他の條件を具備したる少壯有爲の飛行家である、卒業匆々朝鮮迄來て共進會訪問と云ふ樣な晴の舞臺で手際を見せようと云ふのであるから同氏も大に自重して一生懸命遣りたいと力んで居つた、京城の高層氣流は何米突位あるか未だ調査をしないけれども一體九月十月の頃は風力が弱いからして一秒時間の風速は二米突位だと思ふ、全體日本の風力統計によると一年の三分の一は飛行が出來ると云ふ事になつて居るからには三日に一日は飛べる譯である

□飛行の時間は早朝

飛行場は觀客の都合と飛揚の關係とを綜合して龍山練兵場に決定したが二十三萬坪もある所澤の飛行場でさへ不便とせられて居る位であるからして僅々四萬坪位の練兵場では充分なことは出來ぬのは勿論であるが辛じて間に合ふと思ふ練兵場では南山の嶺を廻つた風が東南の方面から吹込むからして練兵場の西隅に格納庫を建築し飛揚の際は漢陽公園の記念碑の邊を目標に滑走し南米倉町の上空を通過して會場訪問をやり歸路も亦同樣の方向を取り出發點に着陸するのであるが着陸の折の滑走には多少不便を感ずるであらうと思ふ、飛行時間は比較的無風の狀態にある午前七時から八時の間に一回飛ぶ位に過ぎぬ、午後にすれば會場訪問の折觀衆も多數參集して居て好都合であるが氣流と光線の點から不可能であらうと考へる

□機體を觀覽せしむ

兒玉伯の話では練兵場で飛揚し共進會場に來り會場の上空を二三回旋廻飛行を行ひたる上神武門外の大芝生に着陸し入場者に機體を觀覽さしたらよからうとの話であつたから實地に行つて見たが到底話しにならず除儀なく會場上を旋廻したるのみで練兵場の方に引返すこととなつたのである、併し出來得る限り多數の人に飛行機に關する知識を與へたいのであるからして協贊會でも混雜を避けるため相當の料金を取つて縱覽せしむる筈である、就中學生諸君の來觀は最も希望する處である倘ほ尾崎氏には二十三日迄に來る樣にと云つて置いたからして遲くも廿四日迄には工手數名を連れて來ることになつて居る市民諸君と共に此記念す可き青年飛行家の成功を祈りたいものである

山縣政務總監の來場

二十日夜間開場の佳賓

吾社の家庭博が夜間開場をすることになつてから連夜に瓦る大入滿員の殷賑を極めて居たが廿日夜の如きは折柄の著苦しさに散歩旁々入場する者引きも切らぬ有樣であつた、其夜の八時頃山縣政務總監は縞綾衣の上に黒の春絹中折と云ふ扮裝にて遠藤秘書官、荷永京畿道事務官等を隨へ突然家庭博の正門を見舞つた、社員の案內にて先づ階上を一巡す、例の評判を取つた不思議鏡の前に立つと只さへ偉大な總監の體軀は大入道になつたり一寸法師になつたりしてこれやどうも面白いねと思はず呵々大笑して隨員を顧る、續て階上を一巡し終り階下に於ては現代各名流の書畫を陳列しあるに注視し、あれよこれよと熱心に鑑賞して居られたが遂に蘭畫の前に立ちては低徊暫し去られぬ風であつた斯て全部を一巡の後館外の貴賓室に於て少憩の上種々家庭博の施設に讚辭を催し約一時間の後退出された

踵を接して來る團體見物

家庭博覽會が夜間開場を開始してからその人氣は更に倍加して夜間の入場者の多い事は驚くべきばかりだが昨今の晝間は各地方から團體見物で賑はつてゐる、二十日は開城郡頭江原道伊川郡の團體八十三人同華川郡の七十三人同楊口郡の六十八人同道川郡の四十九人同定平郡の九十八人全羅南道靈巖郡の五十四人同康津郡の六十人同長城郡の七十七人であつたが此の內長城郡の團體には僧侶が二十名近く居りその中に尼僧が七八人交つてゐた此が各團體と毛色を異にしてゐた此日も前日と同じ樣に海軍將校水兵の觀覽が大分あり午後から渡邊高等法院長などが見えた、夜間會場は前日に劣らぬ大入滿員で日々に盛りゆく家庭博の景氣はために益々引立つて閉場の十時過ぎまで入場者は絡繹として絶えなかつた

鐵道館夜間開場盛觀

二十日夜より晝間に引きつゞきて夜間も開館することゝなれる鐵道特設館に夜間開館第一夜の盛況を見る可く訪へば極彩色に飾られた館內には電燈晃々と輝き階下の兩側にジオラマ式に寫し出せる京元線、湖南線の前には觀客人垣を造りて滿飾を施せる鐵道沿線を夜行列車に乘れる心地にて徐に進む、京元線の釋王寺、金剛山の景色眺めらるゝ邊り、湖南線の彌勒の大佛、群山木浦港の一眸の裡に入る邊りは身動き離しき人集なり、ケーブルカーは夜間は運轉せずとのことに線路に就て模型京釜線を南大門より登りて行けばこゝにも觀客の行列一抔につゞき遲々として進まず沿線の風光は晝間見しとは一しほの美を增して恰も實景の前に立てるが如く大邱市場の盛觀より洛東江岸密陽の風光を見て釜山に達すれば身は何時の間にか階上に在り飾燈の光り共進會場の內外に花と銀き星と散るを見ては堪へかねて群衆と共に三階の上屋上庭園にと這ひ上る、欄干について四方を眺望するに實に京城市街は不夜城の言人を欺かざるを語るもの、京畿道廳の家根に蔽はれて本社家庭博のイルミネーションの餘光天空に映るのみにて全景の見えぬこそ殘念なれど、場內の廣告塔と漢陽公園との兩探照燈互にその光を競ふかの樣市中に光を投ぐる間に光化門通の春日燈籠塲內各建築物に一々點せるイルミネーション等眼を眩せんばかりなり、時に轟然煙花打ち揚げらるゝよと見れば紅黄白青の光り天上より不夜の龍宮城上に降る壯觀云はん方なし、その飽かぬ眺に恍惚たる見物を後に二階に下り此度は京城線を新義州に下りて乙密臺、牡丹臺初め沿線の景色を恣まゝにしつゝ階下の人となる、見れば何ほ後から〳〵押しかくる客足絶えず守衛の言によれば多き時は一時間にして三千の觀客入館するとありと

京仁列車中の懷舊談

臨時列車の一特室には名和司令長官以下の幕僚が詰掛けて乘車し白の第二種軍裝に勳一等旭日章の綬を帶びたる長官と同瑞寶章を胸間に輝かす森山司令官の並んだ前には短艇隊の加藤參謀長が差控へ其のお隣には鹿島艦長下村大佐、三笠艦長久保大佐、肥前艦長中島大佐、周防艦長丸橋大佐が二人宛差向ひとなり堂々たる顔觸れ[illegible]光明媚と輝然たる勳章、金モールなどの輝ける間に歡談湧くが如く車窓の風光を展望しつゝ朝鮮來訪の懷舊談が面白かつた就中列車が漢江の鐵橋を渡る頃名和中將は漢江を指して突然思ひ出したやうに廿餘年前のむかし談を語られた、當時日清の風雲急を告ぐる時であつたから中將は仁川から漢江を溯航して麻浦に上陸し野砲八門を率ゐて京城に乘込んだ、そして此の先發隊は倭城臺に砲列を敷いて[illegible]館に前口を向けたものであつた當時一戶大將も少佐の時代で龍山で交番したまゝ大島公使を護衛して仁川に迎つた、當時雨が降つた、草鞋が一足半しか無かつた、飲水が無かつたなどゝ觸る興味津々たる談、次で官は數々の[illegible]艦長として黒西哥に派遣されたる森山司令官何かわれ〳〵の演習中の怪我でもあると內地の新聞は事情も知らずに大攻撃を試みるがあれなども積極的に考へて一般の人が海軍演習の如何に猛烈なるかを承知して呉れぬと困る、

[illegible]然矢の如く飛込むで來る潜航艇これを擊沈せんとする驅逐艇と雙方入り亂れて大戰鬪を開始した時は遙かに實戰より猛烈なものである、此の邊は一般の人が諒つて呉れぬと困る……と

將軍一流の談論風發、次で多年英國の大使館附武官たりし加藤參謀長の意見も出る、片岡の四艦長はまた呵々大笑の懷舊談、久保三笠艦長と丸橋周防艦長は二人共むかしの八重山艦で朝鮮の防穀令騷ぎに來た人である、八重山は當年の金剛、比叡であつたから『廿四節が限つたな』と中島艦長が哄笑ひ、當時小笠原君が妓生の樂を聽いて『韓樂を聽くの記』をかいた事もあつたと珍談が續々と出る、又當年上村艦隊の[illegible]り下村鹿島艦長は元山沖から東海岸では[illegible]艦隊の艦首に恐に入つたものさ」こいふ、最近伊太利から歸朝した中島肥前艦長は伊太利の海軍は猛烈で且つ貴族の司令長官が戴いてあるが可分にも地勢が不利だ、あのアドリアチックの狹い海では根據地無き伊海軍は[illegible]に比し大に不利だ……ホッ、彼處にはポプラがありますね、羅馬に近いお寺ではあれからペチテイングに似た酒なさつてゐます……』

半額で家庭博が觀られる

今日(晝夜)の家庭博入場者(團體軍人子供の外)には卷煙『しらぎ』(定價五錢)を一個づゝ進呈します

●鮮人素人相撲　京城府[illegible]洞の空地にて十九日より朝鮮人の素人相撲興行され晝間は午前十一時より午後五時迄夜間は午後七時頃より十一時頃迄なりと

大阪毎日新聞
活動寫眞會
會場變更
一、會場　黄金町世界館
一、期日　廿一日廿二日午後六時より
都合により大正館に於ける會場取消前記の通り變更す
大阪毎日
京城通信部

●立花總長嚴父追悼式　憲兵隊司令部及び警務總監部員の立花總長嚴父追悼式は既記の如く二十日午後三時半より總長官邸に於て執行せり參拜者は司令部將校及び同相當官警務總監部高等官並に所屬憲兵隊、警察署の高等官、判任官總代新聞通信記者、總長の知人等五十餘名に及び谷村神官の祭詞あり嚴肅裡に四時半祭典を終れり

●現金を遺失す　栃木縣足利町共進會觀覽團員林信一は共進會場にて十六圓餘在中の財布を遺失し其旨係警官に届出でたるも到底現物の發見は覺束なからんと諦め居りし處黄海道延安郡金山面上二里金基台(二七)なる者も觀覽の爲め入京し右の財布を拾得し殊勝にも警官に届出でたる爲め早速遺失者の手に戻りたるが同人は大に喜び謝金二圓を前記の基台に寄越したりと

●觀覽團員の奇禍　全北益山郡成悅面長崔在于は益山郡團體共進會觀覽團員の先發として九月十六日自宅を出發同夜は江景に一泊し十七日午前公州に立寄り同日午後五時頃自轉車を驅りて廣程より小井里に向ふ途中廣程院坐面の阪路にて過つて自轉車より路上に墜落し右大腿部右肩等を强打したる爲め一時人事不省に陷りたり急報に依り院坐駐在所より憲兵出張救助の上翌日早朝天安迄運れ行き同地公醫の手にて目下加療中なる所多分生命に別條なかるべしと因みに同郡觀覽團は目下入京中にて入京後初めて右の事情を知りたる次第なり

●紀念時計塔竣工　光化門通に建設したる記念時計塔は十八日を以て全部竣工したるを以て十九日より大人は五錢小人二錢下足料一錢を徵收し遠望臺に登樓せしめつゝあるが時間は午前七時より午後十時迄なりと

●西本願寺の讃佛會　永樂町西本願寺にては廿一日から廿七日迄一週間の間秋の讃佛會法要あり廿四日は午前十時より御逮夜あり勤行と說敎とは毎日朝の八時と午後の二時と夜の八時よりなりと

●仁川寺彼岸說敎　淨土宗仁川寺にては來る二十一日より二十三日迄は夜間二十四日より二十七日迄は晝夜彼岸の說敎を勸むる由

□今日の演藝館

▲晝の部

二十一日の晝の演藝館の出番は中券と妓生は廣橋組合にして出演藝妓は左の如し

▲御代の榮(踊)　律榮、小榮、奈子、太郎、玉鶴、君子、高子、千成、喜代香、國丸、喜代次、政千代、呼男、光江、久子

▲つひのよるべ(踊)　三郎、政男、若蔦、小牡丹

▲地方　喜代、若一、その、光奴、二郎、牡丹、太刀、金五郎、いろは、〆太郎、ぽんた、おきし、露み子、一君(國丸、時松、國子、三太)

▲廣橋組合

▲寶相舞　李瓊月、張彩玉、李梅紅、金鳳仙

▲響鈴舞　金月姫、朴錦花、金蓮花、張紅梅、方花客、鄭眞紅、崔玉花、金玉眞

▲舞山香　張山月、崔瓊顏(十一人)

▲夜の部

活動寫眞にしてヒルムは前日と同じ

▲御成座　二十一日夜の藝題は『不如歸』

▲浪花館　浪花節京山若丸の今夜の讀物は『乃木將軍』、故井上公爵、川崎工兵[illegible]』なり

▲壽館　竹本燕糸一座娘義太夫一行

▲佐久良座　大阪若手新俳優一座の今夜の狂言は『大阪陣』双蝶々曲輪日記、梅川忠兵衛なり

▲有樂館　十九日開演式を舉行し二十日夜より活動寫眞坂田金時さ渡守[illegible]の呼物に開演せり

(三) 珍魚むつごらう

京城の太郎さんへ　仁川の次郎さんから

今日は第二號角槽のむつごらうに就てお通知申します前便で一寸話しましたが角槽の番號は水族館の入口左に這入つて左廻りに第一號としたのですから左樣御承知を願ひます第二號には九州の有明海から御入來になつたむつごらうと云ふ珍無類の魚が居ります此の魚は有明海にのみ棲れるので日本內海にも滅多に

□不可思議な先生で

此の朝鮮にも居らないのですが魚槽の中で水に飽くと、ぴんと跳ねて空中の魚槽の壁にぴたつと附著して天氣を見てるのですから上つて空中で一寸跳ねて岩に附くさうです吸盤があつて岩にでも飛び上つて附著するのです此魚はまだ仰天する事があります、それは人間のやうに目をばちくさせて眠たさうな顏をするから氣味が惡くなります、大きさは沙魚位で形態も亦よく似て居りますが中々味が佳いのです僕が先年小學の時にお父さんに從て長崎に行つて諫早の親類の家に行つた時此の魚の

□味は鰻よりも好い

御馳走になつたが有明海沿岸の人は皆珍重して賞味するのですが長崎の知己の家に土產に貰つて歸つたら目玉をばちつかせてるものだから皆な氣味惡るがつて逃げ出した事があるが、これも朝鮮でも內地でも見られませぬ唯有明の特產です、また此の第二號にはにべが居りますが魚槽の中のは小いのが這入つて居りますが斯樣な小い時はしらぐちと云ふのですが大きいのは五尺もありますが日本の近海から朝鮮印度洋に產するのですが常も深い泥底に棲息してるのです夏分は少々淺い處に來るので網でとられるのです此の魚のにべの氣胞は隨分大きいので昔から膠を拵へて弓矢や其他の必要な品物だつたのです

□武器を作るのに必要

近頃は支那に輸出する魚膠を拵へるのです尙ほ此の槽の中には圓るく長いのも居ますが此の中に居りますのは二尺位の小さいものですが大きいのは五尺もあるのが印度から濠洲邊に居ります太郎さんが仁川にお來になつた時御馳走したやうに骨切でよく食はれます

京日案內

◉番外　一回前金六十錢(無割引)　匿名一回毎に金五十錢

朝鮮特產 人參ミルク　衛生滋養豊富　見舞品內地土產品には好適　本品は特約店にあり　一磅入廿五錢　製造發賣元　櫻井町　博榮堂　557

◎古着古道具類一般　御一報次第確實に買受候　黄金町三丁目　電話二四三四　四宮商店　554

◎健胃整腸散◎　下り腹一切の良劑　京城明治町一丁目　小川溫知堂　521

古着古道具不依何品買升　御一報次第直に參上高價に申受候　京城御成町四番地　廣瀨壽市　495

釣道具網類一式　並に網類修繕仕候　永樂町通　相馬屋漁具店　492

恩給年金類立替　京城御成町　電話二七七七番　山口屋　426

恩給年金類立替　京城若草町壹丁目一〇六井出邸內　電話二二六三番　西村商會　427

好職業　四圓五十錢のゴム事業傳授料　無料傳授す　五年爲共進會期中各道特に廿名に限　京城大漢門前　太陽商會　567

恩給年金類立替　京城本町三丁目四十番地　電二二六一番　博多屋本店　428

鍼灸術一般　マッサージ　產後乳もみ　京城本町三丁目　元大和町一丁目　牛山牛乳所隣り　狹間療院　電話一〇二番　568

鑛物各種分析　京城太平町二丁目三四四番地　坂元分析所　577

恩給年金類立替　京城永樂町壹丁目四十四番地　商品陳列館前　電話八〇三番　江州屋　429

調理師は斯界の覇王　優等料理開業其他宴會の御招きに應ず　茶菓方好　精進婚禮　新町　江戸吉　570

皮膚病　花柳病　專門　永樂町商品陳列所坂の上　須古醫院　電話二〇二番　5[illegible]6

裁縫主として實用的を教授す　御希望に依り生田流琴曲、池坊生花何れも隨意親切に教授す　若草町廿六番ポスト入　森裁縫所　537

土產品は翡翠に限る　朝鮮豆元　新羅豆袖　目村井商會取次　五五一番櫻井町二丁　明治町二　電話二一三八六番　544

◉普通　一回前金三十錢(無割引)　匿名一回毎に金五十錢增

◎有望職業　郵券入錢送れ見本送る　即答　ゴム玩具サック類　大阪寶行　京城太平通電話四八八　大正洋行　416

◎古本▲雜誌▲新聞▲反古書籍　買入　振替　京城本町　ウツボヤ書籍店　電話二三七番　475

◎製造販賣　元　京城本町一丁目　電話一〇五五番　橘商店　510

●對人信用秘密金融　京城府櫻井町二丁目六〇一(學校通)　諏訪　564

●ニコ〳〵筆は運筆自在にて實用に適し耐久力に富む一度御試あれ　黄金町三　山田文殊堂藥房文具部　555

●花柳病　りん病ばい毒にて御困りの諸君は一度試に來店あれ　專門藥房　京城黄金町トラッグ支店　557

●時計職人及び十五六歲の見習生入用但し身元保證人を要す　京城本町一丁目　平井勳寶堂　580

●見習店員採用　十六歲以下にて小學校卒業の者履歷書携帶來談　京城太平通り四ツ角　廣江商會　586

●對人信用秘密金融　京城府櫻井町二丁目六〇一(學校通)　諏訪　564

父碩儀豫て病氣の處本日午前一時死去致候に付此段謹告仕候
追て明二十日東京府豐多摩郡代々幡村字代々木三百番地自宅出棺午後三時青山祭場に於て神葬執行致候
九月十九日
立花小一郎
親族總代
子爵 曾我隆準
伊澤修二
友人總代
明石元二郎
山形閑

父恭禮儀豫而島崎病院入院治療中の處療養不相叶二十日午前一時死去致候間此段辱知諸彦へ謹告仕候
追て本葬は郷里に於て執行致候に付本日午後四時若草町曹洞宗兩大本山別院に於て讀經式相營候
大正四年九月廿一日
長女 小島千鶴子
京城府黄金町三丁目二百九十三番地山本貞治郎方
弟 小島至孝
友人總代
有賀光豐
深尾道恕
大和田貞治
藤森辰治郎

葬具萬般整備　飛柩蓮臺　深き經驗を積み專ら業に勉め御葬儀御祝式にも決して差障無之候　京城大和町一丁目(總監部通)　大和葬儀舍　電話二四三番

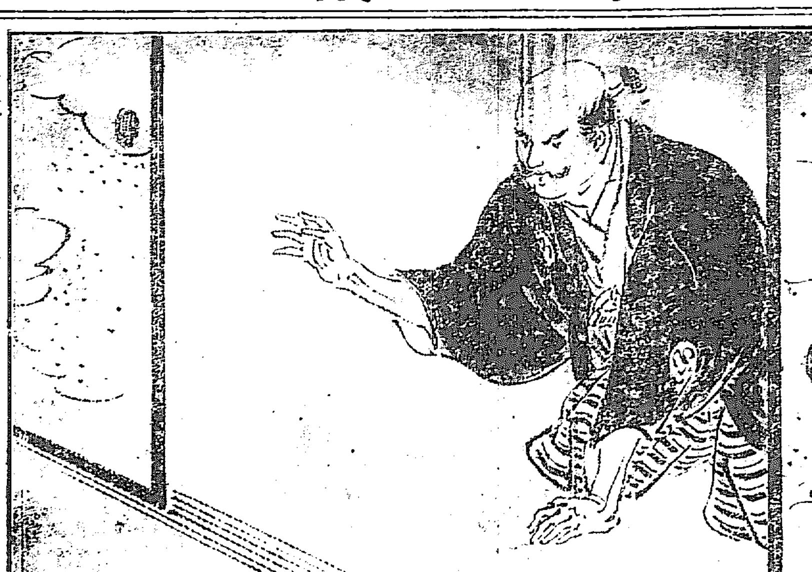
旭町二丁目(名古屋城下)　電一五六七番　株式會社京城葬儀社　本社は支店出張所等無之に付御用の節は直接御用命願上候　靈柩馬車の設備有之候　二川屋　中河原重吉　井上芳太郎　電話九五七番

瓢の旗風 (558)

番紫浪人作
商井年鮮畫

詭策（廿五）

勝家に聲しく呼はれて、お市殿と盛政とは急ぎ坐に入つた。
『市殿！玄蕃もよう聞け！伊賀は死んだわ！』
『それ、今承りまして、たゞ涙に暮れ居りまする。』とお市殿は流石に女の、密と涙を拭うた。
『延念な事を致いた！』と盛政は、これだけ云つて、差俯向いた。
『今更、何とせう……』と勝家は吐き出すやうに云つて。
『よしや彼、兵貸此勝家に如才のあらうも、それ或は、心得違ひの儀もあらう。まつた家來共に掘られた筋もあらう、一時は如何に、不埒の所爲さあらうが、何がさて彼は北の庄の跡目、我等が行いて、諭すか叱るか、いづれにせよ、其心の醒へさせ得させたもの、しかし、過ぐる日出陣のせば、もう弓矢の儀ならぬ、彼は死に瀕せる時ちやつたに、入らざる留立の致し居つた故、この心外な目に逢ふわ。思へば、無念……』と拳を握り無念の形相凄まじく、お市殿も盛政も、唯事ならぬ降つて湧いたる此場合如何とも慰め兼ねて、眼と眼を見合せ、溜息ばかり吐いて居る。
やがて勝家は涙を拂つて。
『エヽ。逝いたものは返らぬ。今更是非無い。我ながら不覺の涙であつた。但し、疾う、出陣のせずば、伊賀が凶事につけ込んで、筑前奴、兵を長濱に入れよう。さすれば大擧ぢや！』
『能う云やつた叔父御……』と勢づいた玄蕃は、グイと兩肱を張つて。
『此上は唯、猿の首を見ねば、腹の蟲が治まり申さぬわ！疾う〳〵、陣觸』と急き立てた。
『ム、。それ〳〵、出陣の用意申しつけい！此噂きは、弓矢で消さうぞ！』と悲痛の聲を振絞つて、勝家が立上らうとした時、慌しく駈け込んで來たは、ズツト以前より隠密にと入込ませておいた宇野忠左衛門……
『ヤ、忠左か、彦三に逢うたかツ。』と勝家は叫んだ。
『イヤ、未だ面會は致しませぬ。若殿御大切、唯々御愁傷と御察し申し上げまする。』
『それ聞いた。その知らせに歸城のしたかツ。』
『それに續いて、由々しき大事……』
『ヤ。』座にある一同は絶叫した。
『若殿の御大事、逸速くも聞き込みしものか、筑前めが、大擧して、長濱へ……』
『何と……』
『無念にも長濱は、賊！て、敵と為つて御坐いまする。』
『……』勝家も盛政も、亦お市殿も殆んど何の言も出なかつた。
去年以來詭策を以て、度々秀吉を謀り、計り終せたと思つたのは、寧ろ大なる失體であつた。此方の詭計を知つて、秀吉はこれに乘つて見せたので、一歩一歩、此の庄の天地に妖雲のかゝると共に、秀吉の脚下に「天下」が近づいて來た。其天下に臨むべき史上に名も高き賤ケ嶽の劍影は愈々燦き初めたのである。



夕暮れた夕に

仁川　兼行幽秋

燗れる様に閉じかゝる瞳の赤い光を太陽は默て地上になげてゐる、其處には、遠い空の新しい生命の叫がくるめく太陽の中に、ほのかにも聞える様だつた。機械と、而して生活のあはたゞしい騷音は、聞きながら大空からひし〳〵と、かけ下だ靜寂にじつと包まれた、けれ共、時折綿目の粗い衣物からもれる様に、おつとりと空氣を亂してゐた。
夜は兩手を黒く擴げて、夕暮を抱かうとしてせまつて來た、褐色に滅び行く、赤い空氣の中から、種がはじける様に瞳が生れて來た。私達の日は黒い薄膜に目かくしをされる様に重たい壓迫を、不透明な液體の様に感じるのだつた。
『皆默て…ほら太陽は赤い沈默の中に眠て行くではないか、オ、何と言ふやさしい私達の母の姿だらう、あすこの沈默、あすこのいのち』最早誰の命も盲目になつた、暗がつた空氣の中に、夕暮の發光と、太陽の最後の吐息がじつと見える、私は大空の下に征服者の様に思て心で叫んだ
生くるものは總てしぼりとられて、かすばかり殘た蒼い髓、すつかり凋落した夏の姿は、夜の中に悲な態を横たへた……私はじつと耳を靜めた、寂れた空氣の中を、弱いはゞたきにのがれ行く夏の命が、凋落の悲しみをひつそりと私の心へさゝやくのだつた。
其處此處、赤い灯がちらつきそめた此處から、滿潮時の海潮音がかすかに聞える、白い海鳥は、ぴいぴいと海に寫た夜の影の黒きを縫ふて黒く飛んだ。
オ、本當に沓靜まつてゐる、ほの暗い宵闇は、次第に鉛色に濃く渦巻いて來た、私達の運命の細胞は一つ一つふくらんで疲れながら生を續けてゐる、今沈默は深くなつて行く。遠い日の照る空から遠に倒れて來た大空の影が夜の中にじつと浮いてゐた。
たわ言（ニイチエ●所謂）勝者よ、人の力が、敗戰する日が來る、外國の勝利者には異の力が出來るのだらうか、私はお前は敗者と思ふ。強からんとして敗れたるもの、なる時は死する瞬間だらうと思ふ。私は其の人を讃美する、敗北者は常に闘て生きんとしてゐるから、我々は運命の中に生きるのではない運命と共に死ぬんだ。

□深にありて　登耳男
日に細る腕眺むればあり〳〵と少年の日の時切りし傷見ゆ

□旅路にのびて　瓦里子
くまかねとけ三滋の眞砂も煎られゆく其日たちます父上を思ふ
ひた汗のにじみ湧く時三旅路の父をしのびぬ大めぐみ思ふ　英夫

□病後
出勤簿開きて見れば黒々と欠勤の印押し並びたる

冷

冷やかな曉風吸ふて樹に吐く　容堂
鄕返す古墳の四壁冷かに　同
冷かや隔たる父母の默す顔　山民
冷かや行人を見る大鏡　同
冷けき宿の眼ざめに鯨より　陵雨
夜の渡舟冷かに風渡りけり　青扇
冷かや人あるに早や貸家札　雲帝
山城や壁蒔丹碧冷かに　鬼孫
日毎見居しが冷かに椽の影　葉堂
冷かなる夜氣變らず咳き玉ふ　雛子郎

月

ポプラ鳴る風月宴とはなりけり　山民
友の來知り居し句牛川題　同
洪水河心移りぬ草の月　可雪
名月牛羽屋の壺に光りけり　廿村

秋の山

窯出して打つ響く秋の山　橙黄子
秋に書友子山雅驛郎く過ぐ　寄の

桃川如燕講演　井川洗厓畫
家庭講談　女義士傳
▲定價金五十錢　▲郵稅本社持
此書は講談師界の花形たる桃川如燕の快舌に依りて赤穗復讐の側面を現出し活躍せる義婦烈婦の奇計ある美人の苦節、悲壯一たび卷を繙けよ出で、快絶なる所を措くべき其の書を開き見て、堀部彌兵衛の妻、堀部の妹菊江、内匠頭後室瑤泉院、茅野和助の母、赤垣源藏の姉、間新六の伯母、原惣右衛門の妹、大石良雄の妻、山岡覺兵衛の妻、等の讃物として家庭に尤も面白くして有益なるものなり江湖の愛讀を待つ

大阪期米特電（二十日）
▲後場　一節寄付十一圓七十二錢△中限寄付十一圓六十八錢△先限寄付十二圓六錢

	高値	安値	止め
當限	一一、五九	一一、五〇	一一、五〇
中限	一一、七九	一一、六三	一一、六三
先限	一二、〇三	一一、八六	一一、八六

場　高値　八圓八十九錢　安値　八圓八十三錢　出來高　一萬千六百石
十月限　一千三百五十石　十一月限　二萬六百石

上品で氣の利いた
美顔ユーマー

▲容色の善惡は 生れつきで仕様の無いものか、人はほんとうに美しくなれるか何うかといふ事は、婦人は固より男子方の間にも疑問の一つとなつて居りますが、例へば山出しの
▲女中さんでも 都へ出て長く奉公してる中には次第〳〵に見違へる程綺麗になる所を見ますと、誰でも手入の工合で美しくなれる筈で御在ます。併し其施手入をした所で然う
▲俄かに綺麗に なるといふ譯には參りません。けれども慾には一飛に美しく成度いのが人情で、何か、顔へ附けると直ぐお化粧でもしたやうに美しくなるものは無いだらうかと
▲自然の情から 要求なさる、其要求を如何にもして充し度いものと、先年來熱心に研究を始めたのが桃谷研究試驗部顧問二博士の下の三藥學士で、先づ歐米での有名な化粧品を
▲片つぱしから 分析研究し、あらゆる實驗と最新の學理とによつて漸う完成致しましたのが今上流中流方御家庭の間に非常な人氣になつてる美顔ユーマーです。此品こそ彼の
▲一飛に美しく 見せ度いといふ方のお化粧料として此上も無い適當品で、朔使へば一日中顔色を活々と美しく保ち、續けて使へば顔の地から美しくする作用が強く、お宅で能る
▲手輕な美顔術 として是程有効なものは御在ません。現に東京巴里院長、佛國女流美顔術大家マリールウキズ嬢は、現今東京美顔術界の大立物として宮家を始め奉つり、華族方
▲一流の紳士方 の御家庭へ召されて美顔術を行はれる際、この美顔ユーマーを美顔術に應用されて、實に理想に適つた立派な効果のあることを實驗せられて非常に喜ばれ、是は
▲全く珍しい品 であることで引續き用ひて居られます。此品は或特種の植物性の粘液美容素を含んで居りますので、其作用で前申した通り、朝洗面後に少量手掌に滴してお顔に塗け、輕く摩つて置く樣になされば
▲一日中活々と 美しさを保ち、男子のかくし化粧にも適し、殊に唇の荒を防いで肌理を美くする力が強く、又白粉の浴水や白粉下白粉おさへ等に使へば白粉に極めて美しい艶が出て、ノリやノビも思ふ樣になり
▲幾段も化粧美 を増し、且つ洗れくづれを防ぐ等實に理想的新化粧料で御在ます。定價一瓶二十錢、試して決して御損の無い事を斷言致ます。信用ある化粧品店に御座います。

麻病専門　救　治痳藥
本劑は處方を公開せる最新藥にして實驗患者全治の禮狀山の如し痳疾患者の本劑を用ひて治癒せざるものなき實に百發百中と雖も過言に非らざる靈藥なり
■慢性痳疾用（膠匣入）金二圓二拾錢　金一圓廿錢
■初期痳疾用（膠匣入）金一圓拾錢　金六十錢

梅毒専門　救　根治丸
本劑は梅毒の痼疾を主治する靈藥にして六〇六號注射法其外各種療法を用ひて無効の人は落膽せずして速に本劑を用ひられよ
▲販賣店は各地到處藥店に有り無き時は本部に直接注文あれ▼
■七日分　百六十八粒入　定價金六十錢
京城南大門通四丁目　電話二五八三番　振替貯金一二六九番
達摩堂　救世藥舘

大阪市東區南本町御堂筋
花緒問屋
太田宇兵衛
電話長東三九二番　振替大阪五六四番

新刊書御案内

書名	著者	定價
南天棒禪話	中原鄧州	一、二〇
周公と其時代	林泰輔	二、二〇
日本倫理	有馬祐政	一、〇〇
日支交渉に依る帝國の利權	松本	一、五〇
模範的都市經營	牧野輝智	一、〇〇
果樹の害蟲	高橋獎	一、二〇
日蘭三百年	村上直次郎	一、八〇
蘭領東印度	中上成太郎	二、五〇
南洋の寶庫	神保文治	八五
米國より日本へ	正岡猶一	一、〇〇
模範英文名句集	佐藤正	三五
英文日本年鑑	武信由太郎	四、〇〇
進化の話	加茂熊太郎	三五
自然の奇觀	横山又次郎	一、五〇
疑問の窓	宮地竹峰	八〇
倫敦塔。幻影の盾。薤露行		三五
あらくれ	秋聲	七八
色鳥	獺石	一、二〇
下町情話	久保田萬太郎	七五
蓄音器文句集	八雲山人	二五
地底の寶玉	三津木春影	五五
ルッソオ瞑想録	岡本秋村	一、二〇
狸爺家康	長田偶得	七〇
野心論	澤柳政太郎	一、二〇

大阪屋號書店　京城本町　電話二八八六　振替京城二五七三番

滿蒙處分論
露國クロパトキン將軍原著　日本大井包高譯
定價金一圓　郵稅本社負擔
京城日報代理部　振替貯金京城三〇〇番

朝鮮郵船仁川出帆

本社　電話長一九五二番、二二三一番　支店、出張所、代理店、取扱店に御照會相成度
京城南大門驛前　京城御客取扱店　松原運送店（電話一七〇）

全羅丸　九月廿五日
京畿丸　△十月五日
黄海丸　九月五日
成鏡丸　九月廿九日　釜山發
但△印は元山經由開航する　門司より釜山各港寄港開航こと
昌平丸　九月　日　元山發
鏡城丸　九月廿六日（元山より各港經由雄基行）
竹清丸　九月二十日　元山發
忠清丸　九月　日　元山發（城津、清津、西湖行復航釜山經由門司）
永興丸　毎月廿八回　元山發（北久味、五里浦行　又は長崎延長）
嘉島丸　九月廿五日　釜山發（甘浦、九龍浦、浦項各港寄港欝陵島行）
江陵丸　襄陽丸　毎日　（釜山浦項）發（長生浦、方魚津寄港）
三浦丸　九月廿四日　釜山發（長承浦、統水、巨文島、濟州島各港行）
海州丸　巨濟丸　統營丸　慶寶丸　毎日　釜山發（各港經由麗水行（三日目一回木浦行））
順天丸　三日目毎　木浦發（各港經由麗水行麗水より釜山行に接續）
慶興丸　九月　日　木浦發（各港經由濟州島行（月八回））
公州丸　九月　日　木浦發（南多島海列島行（月三回））
宗信丸　九月廿二日　仁川發（海州他各港經由、鎭南浦行）
江原丸　九月二十日　仁川發（青島直行、大連、芝罘行）
麗水丸　九月　日　初鷹丸　九月廿四日　仁川發（各港經由木浦行）
全州丸　南陽丸　毎日午前　仁川發（江華島、桐商島、海州行）

日本郵船仁川出帆

○大連太沽牛莊行
商砂丸　十月廿一日　正午出帆
三河丸　十月八日　正午出帆
相模丸　九月廿八日　正午出帆
仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發賣仕候
○新山木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
湖州丸　九月廿六日
遼州丸　九月三十日
遠陵丸　九月廿二日　午後五時出帆
×○木浦、釜山、長崎行
吉林丸　九月廿四日　午後二時出帆
○鎭南浦、大連行
安東丸　九月　日
天智丸　九月廿八日　午後二時出帆
○鎭南浦關門神戸大阪行
漳州丸　九月　日　正午出帆
○群山、釜山、横濱行
△須磨丸　九月　日　午後四時出帆
△チヨイサン丸　九月廿八日　出帆
○大連直行
△千珠丸　十月三日　正午出帆
△チヨイサン丸　九月廿三日　正午出帆
○元山、清津、浦潮行（釜山出帆）▲は城津西湖津に寄港
宮島丸　九月廿七日　午後九時出帆
神宮丸　九月　日
▲城津丸　九月廿二日
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
基隆丸　九月廿三日　午前
新高丸　十月十一日　四時出帆
御注意
○朝鮮鐵道及び滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候
○乘船客は本船出帆約一時間前迄に御乘船あれ
○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話一二番、一二〇番、二五〇番
京城切符發賣所　内國通運會社支店　電話七八〇番

共同汽船仁川出帆

阿波共同汽船
芝罘、大連行
第十五共同丸　八月廿二日後七時入港　八月廿四日前九時出港
城津、清津、浦潮行（元山出帆）
第二阪鶴丸　九月　日　後九時　九月　日　出港
西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三共同丸　九月　日　前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目　電話一〇八番　山下回漕部
仁川代理店　元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店（電話二六八、二〇一七）

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸　九月廿二日　後五時出帆
君が代丸　九月　日　後四時出帆
神代丸　九月　日　後四時出帆
大有丸　九月　日　後五時出帆
○群山、大阪行
土海丸　九月　日　後四時出帆
仁川港町二丁目　電話五十九番　高杉回漕部
平安丸　九月廿七日　群山發　九月廿二日　若松發

汽船釜山出帆廣告

○門司、大阪行　小倉丸　九月　日　午後五時出帆
○元山城津浦鹽行　小倉丸　九月　日　後十時出帆
○門司、神戸、大阪行　立神丸　九月　日　後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行　立神丸　九月　日　後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　九月　日　後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　九月　日　後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天與丸　毎月二日九日十六日廿三日三十日　午後十時出帆
釜山本町五丁目　本部取扱店　大池回漕部